

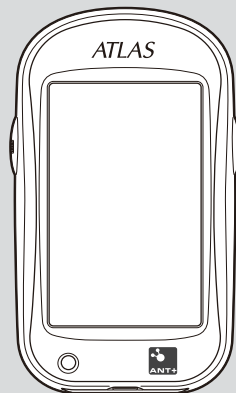
ATLAS® HANDY GPS MAP ASG-CM21



取扱説明書

このたびは、ATLAS ASG-CM21をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
本機は、目的地への方向と直線距離がわかる地図表示機能や、様々なデータを表示できるサイクルコンピューター(※)の機能を持った多機能ハンディGPSマップです。
ANT+センサー(スピードセンサー、ハートレートセンサー、ケイデンスセンサー)の接続が可能です。

※走行時間や走行距離などの計測や表示、走行経路などの記録・確認を行う場合、市販のmicroSD(2GB以下のmicroSD、または8GB以下のmicroSD HC)カードを別途ご購入ください。



注意 ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。なお、お読みになられたあとも大切に保管してください。

保証書 (持込修理)

本書は、本書記載内容で、無料修理を行うことを、お約束するものです。
保証期間中に、正常なご使用状態で、故障が発生した場合には、本書をご提示のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

品番	ASG-CM21		
S/No.			
お買い上げ日	年	月	日
保証期間	お買い上げの日より1年(電池などの消耗部品は除く)		
お客様	お名前	様	
	ご住所	〒 TEL()	
販売店	店名・住所	上欄に記入または捺印の無い場合は、必ず販売店様発行の領収書など、お買い上げの年月日、店名等を証明するものをお貼りください。	

目次

はじめに

安全上のご注意.....	6
使用上のご注意.....	11
ASG-CM21 ができること	14
ASG-CM21 ができること (オプション)	16
GPS 衛星について	17
各部の名称と働き	18
各部の名称と働き (付属品・別売品)	19

使用前準備

リチウムイオン電池の装着 / 取り外し	20
リチウムイオン電池の装着	20
リチウムイオン電池の取り外し	20
microSD カードの装着 / 取り外し	21
microSD カードの装着	21
microSD カードの取り外し	22
充電について	23
電池残量表示について	23
充電ランプについて	23
リチウムイオン電池を充電する	24
自転車への取り付けかた	26
マウントブラケット (一式) の取り付けかた	26
本体をブラケットに取り付ける / 取り外す	27
電源ボタンについて	28
電源を入れる	28
電源を切る	28
タッチパネルロックについて	28
地図 / メーター画面について	29
表示画面について	29
インフォメーション画面について	31
メインメニューについて	32
メインメニューを表示させる	32
プロフィール設定を行う	34
プロフィールを入力する	34
数値入力画面について	36

< 無料修理規定 >

1. 表面記載の保証期間内に、取扱説明書等の注意書に従った正常なご使用状態で故障した場合には、無料修理いたします。
2. 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合には、機器本体及び本書をご持参、ご提示のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。
3. ご転居ご贈答などで本保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理がご依頼できない場合には、お客様ご相談センターへご相談ください。
4. 保証期間でも次の場合には有料修理になります。
 - (イ) 使用上の誤り、または不当な修理や改造による故障および損害
 - (ロ) お買い上げ後の移動、落下等による故障および損害
 - (ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害、塩害、指定外の使用電源による故障および損害
 - (ニ) 特殊な条件下等、通常以外の使用による故障および損害
 - (ホ) 故障の原因が本製品以外にある場合
 - (ヘ) 本書のご提示がない場合
 - (ト) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入の無い場合、あるいは字句を書き替えられた場合
 - (チ) 付属品や消耗品等の消耗による交換
5. 本書は、日本国においてのみ有効です。
This warranty is valid only Japan.

故障内容記入欄

※本書を紛失しないよう大切に保管してください。

※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または、お客様ご相談センターにお問い合わせください。

サイクルコンピューターとして使う

本機を使ってみる	38
動作モードを選ぶ	38
サイクルコンピューターとして使う	39
経過時間や走行距離の計測し、表示する [スタート/ストップ]	39
ラップ計測・表示をする [ラップ]	40
走行データをリセットする [リセット]	41
モードメニュー	42
モードメニューを表示させる	42
動作モードの設定を変更する	43
コンパスを表示する	43
コンパスを表示する	44
コンパスを補正する	45
アラートを使う	47
アラートを設定する	51
自動スタート/ポーズ/ラップ設定を使う	53
自動スタートを設定する	55
自動ポーズ/自動ラップを設定する	56
表示項目設定を変更する	58
表示項目とレイアウトを変更する	58
表示項目一覧	62
ログ記録設定を変更する	64
ログ記録間隔を変更する	65
地図設定を変更する	67
電子コンパスを設定する	67
マップマッチングを設定する	69
ANT+ ハートレートセンサー設定を行う	70
ハートレートセンサーの設定をする	71
自転車設定を行う	73
ANT+ ケイデンスセンサーの設定をする	74
スピードセンサーの設定をする	76
タイヤサイズを入力をする	78

履歴を見る

履歴を見る	80
履歴閲覧カレンダー	80
月間の走行履歴を見る	81
週間の走行履歴を見る	82
1日の走行履歴を見る	83
ラップの履歴を見る	85
走行履歴の軌跡を見る	87
履歴を消去する	88
走行履歴の保存／読み出し	89
走行履歴（ルート）を保存する	89
ラップの履歴を保存する	90
保存した走行履歴（ルート）を読み出す	91
読みだした走行履歴（ルート）を地図画面に表示させる	92
表示させた走行履歴（ルート）を地図画面から削除する	92
保存した走行履歴（ルート）／ラップ履歴を削除する	93

GPS マップとして使う

GPS マップとして使う	95
地図スケールを変更する	95
地図をスクロールする	96
地点を登録する	97
登録地点を確認／削除する	98
目的地を設定する	100
目的地を設定／消去する	100
目的地を検索する	102
50音で検索する場合	102
業種別で検索する場合	110
電話番号から検索する場合	112
住所から検索する場合	114
登録地点から検索する場合	116

各種設定

システム設定について	119
システム設定の項目一覧	119
システム設定を変更する	121
タッチパネルを補正する	122
高度を補正する	124
GPS測位情報を見る	126

その他

パソコンでの軌跡確認	128
プロジェクトを見る (ATLASTOUR Planner)	129
microSD カードに「track」フォルダを作成する	130
取り込んだルートを地図画面に表示する	131
地図画面に表示したルートを地図画面から削除する	133
ブレースマーク (目印) の詳細を表示する	134
地図記号について	136
地図データベースについて	137
ity MAP サービス	138
今すぐ地図表示サービス	138
地図閲覧サービス	139
こんなときは	140
仕様	141
アフターサービスについて	142

安全上のご注意





ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。ここに掲載された注意事項は、製品を正しくお使いいただき、使用するかたへ危害や損害を未然に防止するためのものです。安全に関する重大な内容ですので、必ず守ってください。また、注意事項は危害や損害の大きさを明確にするために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を次の表示で区分し、説明しています。

⚠危険：危険内容を見逃した取り扱いをすると、死亡または重傷を負う高い可能性が想定されます。



⚠警告：警告内容を見逃した取り扱いをすると、死亡または重傷を負う危険な状態が生じることが想定されます。



⚠注意：注意内容を見逃した取り扱いをすると、傷害や物的損害をこうむる危険な状態が生じることが想定されます。










絵表示について




-  この記号は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。
-  この記号は、してはいけない「禁止」内容です。
-  この記号は、必ず実行していただく「強制」内容です。
-  この記号は、関連するページを表しています。

●安全上お守りいただきたいこと

⚠危険	
	充電する際は、本機専用の AC アダプターをご使用ください。指定以外の AC アダプターを使用すると、発熱、発煙、破裂、発火の原因になります。
	濡れた手でミニプラグの抜き差しをしないでください。感電する原因になります。

⚠警告	
	走行の際は、必ず現場の交通規制標識／掲示などに従ってください。交通事故やけがの原因となります。
	走行中に操作、または画面の注視をしないでください。交通事故やけがの原因となります。

⚠警告	
	穴やすき間にピンや針金等の金属を入れないでください。感電や故障の原因となります。
	サービスマン以外の方は、絶対に機器本体および付属品を分解したり、修理しないでください。感電や故障の原因となります。内部点検や調整、修理は販売店にご依頼ください。
	異物が入ったり、水につかったり、煙が出ている、変な臭いがする等、異常な状態のまま使用しないでください。発火の恐れがありますので、すぐに使用を中止して、修理をご依頼ください。
	AC アダプターのコードが傷ついたり、本体が異常に発熱した場合は、直ちに使用を中止してください。そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。
	手や本機が濡れているときに、端子カバーの開閉は絶対にしないでください。また、端子カバーが外れた状態では、防水効果が得られません。
	心臓ペースメーカー等の医療機器をご使用のお客様は、医療用機器への影響を医療用電気機器製造業者や担当医師にご確認ください。
	病院内や航空機内など、使用が禁止されている場所では使用しないでください。電子機器などが誤作動する恐れがあり、重大な事故の原因となります。
	この製品は 2.4GHz 帯の周波数を使用しています。この周波数帯は、産業・科学・医療関係機器、各種無線局や無線 LAN など（以下「他の無線局」）に使用されています。ご使用中に「他の無線局」との電波干渉が発生した場合は、ご使用場所を変更するか、本機の使用を中止（電波の発信を中止）してください。
	本機を、船舶・航空機等の主航行装置として、または登山用地図として使用しないでください。地図や方位のズレ、電池切れによる動作停止により、事故や遭難の原因となります。

⚠注意	
	本機は精密機械です。静電気 / 電氣的 / ノイズ等で本体のデータが消えることがあります。データが消えると正常に動作しません。
	microSD カードの挿入口や、USB 端子に異物が入ると、故障の原因となることがありますので取り扱いにご注意ください。
	ベンジンやシンナー等の揮発性の薬品、洗剤、化学ぞうきんなどを使用して拭かないでください。塗装面を傷めます。

⚠️ 注意

❗	本機を取り付ける際は、自転車操作の妨げにならない位置に取り付けてください。自転車操作の支障となり、交通事故やけがの原因となります。
⚠️	走行前に、本機が自転車で固定されていることを確認してください。本機が落下し、破損する恐れがあります。
🚫	強い衝撃を与えないでください。液晶パネル（タッチパネル）が割れて、けがの原因となります。
🚫	本機は日本国内仕様です。海外ではご使用にならないでください。

● リチウムイオン電池について

⚠️ 危険

❗	指定のリチウムイオン電池以外は使用しないでください。指定以外のリチウムイオン電池を使用すると、発熱、発煙、破裂、発火の原因となります。
🚫	リチウムイオン電池を分解したり、改造したりしないでください。リチウムイオン電池が液漏れ、発熱、発煙、破裂、発火の原因となります。
🚫	リチウムイオン電池の端子部を針金などの金属で接続しないでください。また、金属製のネックレスやヘアピンなどと一緒に持ち運んだり、保管しないでください。リチウムイオン電池がショート状態になり、過大な電流が流れ、液漏れ、発熱、発煙、破裂、発火あるいは針金やネックレスやヘアピンなどの金属が発熱する原因となります。
🚫	リチウムイオン電池を火のそば、ストーブのそばなどの高温の場所（80℃以上）で使用したり、放置しないでください。熱により樹脂セパレータが損傷した場合、リチウムイオン電池が内部ショートし液漏れ、発熱、発煙、破裂、発火の原因となります。
🚫	リチウムイオン電池を火の中に投入したり、加熱しないでください。絶縁物が溶けたり、電解液に引火したりして、液漏れ、発熱、発煙、破裂、発火の原因となります。
🚫	リチウムイオン電池を水や海水などにつけたり、濡らさないでください。リチウムイオン電池内部で異常な化学反応が起こり、リチウムイオン電池が液漏れ、発熱、発煙、破裂、発火の原因となります。

⚠️ 危険

🚫	火のそばや炎天下などでの充電や放置はしないでください。リチウムイオン電池内部で異常な化学反応が起こり、液漏れ、発熱、発煙、破裂、発火の原因となります。
🚫	釘を刺したり、ハンマーで叩いたり、踏みつけたりしないでください。リチウムイオン電池が破壊、変形され内部でショート状態になり、液漏れ、発熱、発煙、破裂、発火の原因となります。
🚫	強い衝撃を与えたり、投げつけたりしないでください。リチウムイオン電池を液漏れ、発熱、発煙、破裂、発火させる原因となる恐れがあります。
🚫	リチウムイオン電池を落としたりまたはその他の理由で外傷や変形の激しいリチウムイオン電池は使用しないでください。液漏れ、発熱、発煙、破裂、発火の原因となります。
🚫	リチウムイオン電池に直接ハンダ付けしないでください。熱により、絶縁物が溶けて、液漏れ、発熱、発煙、破裂、発火の原因となります。
🚫	リチウムイオン電池が液漏れして液が目に入ったときは、こすらずにすぐに水道水などのきれいな水で十分に洗ったあと、直ちに医師の治療を受けてください。放置すると液により目に障害を与える原因となります。

⚠️ 警告

❗	充電の際に所定の充電時間を越えても充電が完了しない場合には、充電をやめてください。リチウムイオン電池を液漏れ、発熱、発煙、破裂、発火させる原因になる恐れがあります。
❗	リチウムイオン電池が液漏れしたり、異臭がするときには、直ちに火気より遠ざけてください。液漏れした電解液に引火し、発煙、破裂、発火の原因となります。

使用上のご注意

⚠注意：

❗	リチウムイオン電池が液漏れして、液が皮膚や衣服に付着した場合は、直ちに水道水などのきれいな水で洗い流してください。皮膚がかぶれたりする原因になる恐れがあります。
❗	リチウムイオン電池は、乳幼児の手の届かない所に保管してください。また、使用する際にも、乳幼児が装着した機器から取り出さないようにご注意ください。
⚠	お買い上げ後、初めて使用の際に、さびや異臭、発熱、その他異常と思われたときは、使用しないでお買い上げの販売店にご持参ください。
⊘	濡れたリチウムイオン電池は使用しないでください。故障、感電、発熱、発火の原因となります。
⊘	濡れた手でリチウムイオン電池をさわらないでください。感電の原因となることがあります。

⚠注意：

⊘	通電中のリチウムイオン電池に長時間触れないでください。温度が相当上がることがあります。長時間皮膚が触れたままになっていると、低温やけどの原因となることがあります。
---	---

● 液晶パネル（タッチパネル）について

⚠警告

⚠	画面を強く押したり、先の鋭いもので押さないでください。タッチパネルが割れて、けがの原因となります。
---	---

- 本機は、カーナビゲーションシステムのようルート（道路）を選択して案内するものではありません。
 - 地図データの誤字・脱字・位置ズレなどの表示や内容の誤りに対して、取り替えや代金の返却はいたしかねます。
 - 地図データの機能がお客様の目的に正確に適應することを、弊社は保障するものではありません。
 - 地図データやプログラムの著作権は、著作権に基づく権利を許諾した他者に帰属しております。データ/プログラムの複製、改造、解析等を行うことはできません。
 - 道路/地名は、変更される場合がありますので、実際と違う場合があります。
- 本体に入力された個人情報は、本体内部のメモリーに残っています。他人に譲渡または、処分などをされる際はプライバシー保護のため、個人情報の取り扱い管理は必ずお客様のご責任で行ってください。
 - 液晶パネルは非常に精密度の高い技術で作られており、99.99%以上の有効画素がありますが、0.01%の画素欠けや常時点灯する画素があります。あらかじめご了承ください。
 - 使用前には、必ず充電を行ってください。電池残量が少ないと、走行中、または歩行中に電源が切れ、使用できなくなる場合があります。
 - 本機の地図データは更新できません。

※ 本機の仕様および外観、アイコン、表示名、表示の内容は、実際と異なったり、予告なしに変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

表示部

- サングラスを使用時、偏光特性により、画面表示が見えなくなってしまうことがあります。あらかじめご了承ください。

リチウムイオン電池に関する注意

- リチウムイオン電池には寿命があります。
- 充電しても使用できる時間が短くなったら、新しいリチウムイオン電池との交換が必要です。交換については、お買い上げの販売店にてご購入ください。お困りの際はお客様ご相談センターにご相談ください。
(● 19 ページ「別売品オプション」)

お願い

不要になったリチウムイオン電池は金属部にゼロハンテープなどの絶縁テープを貼って、お住まいの自治体の規則に従って正しくリサイクルしていただくか、最寄りのリサイクル協力店へお持ちください。リサイクル協力店につきましては、一般社団法人 JBRC のホームページ (<http://www.jbrc.net/hp/contents/jbrc/index.html>) をご参照ください。



リチウムイオン電池の充電に関する注意

- 安全のため、高温時や低温時は充電ができません。充電可能な温度範囲は、0～+45℃になります。

GPS 測位に関する注意

- 本機を初めてご使用になるときは、GPS 測位が完了するまで 20 分以上時間がかかる場合があります。
- GPS アンテナ部を遮へい物で覆ったり、電波が受信しにくい状況であったりすると、GPS 測位ができない場合があります。

画面表示に関する注意

- 進行方向、現在地、距離、消費カロリーなどは、GPS 測位による位置変化をもとに算出しており、補正機能はありません。測位状況によって実際と異なることがありますので、目安程度にお考えください。
- 高度や方位の表示は、GPS の電波と気圧や地磁気から算出しております。測位状況や環境によっては、実際とは異なることがありますので、目安程度にお考えください。また、方位は「コンパス補正」で補正することができます。(● 45 ページ「コンパスを補正する」) 高度は「高度補正」で補正することができます。(● 124 ページ「高度を補正する」)
- 時刻は、GPS 測位により自動的に設定され、時刻合わせの操作は不要です。(測位状況により、時刻が合わないことがあります)

目的地検索に関する注意

- 50 音検索、業種別検索、電話番号検索で表示される場所は、実際の所在地と異なる場合があります。
- プライバシー保護のため、個人宅の電話番号は登録されておりません。

取り扱いに関する注意

- 本機は、電源ボタンが押されることに備え、電源がオフの状態でも待機電流を消費しています。
- 本機は、端子カバーや電池カバーをしっかりと閉じ、隙間や浮きがない状態で IPX6 の防水機能を有しています。

自転車への取り付けに関する注意

- 自転車へ取り付ける際は、GPS 衛星の電波を受信しやすくするため、画面が上空に向くように取り付けてください。
- 取り付ける際は、運転操作の妨げにならない位置に取り付けてください。
- ハンドル、ステムの形状によっては、付属のマウントが取り付けられない場合があります。

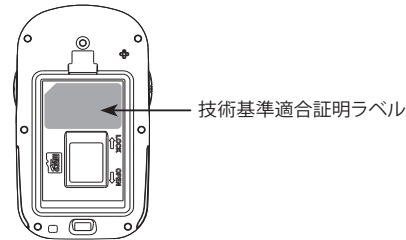
microSD カードに関する注意

- 本書では、「2GB 以下の microSD カード、8GB 以下の microSDHC カード」を「microSD カード」と略記することがあります。
- 経過時間などの表示や走行履歴の確認には市販の microSD カードを別途ご購入ください。
- microSD カードとの相性による動作の不具合については保証いたしかねます。

- ※ 自然災害や火災、その他の事故、お客様の故意または過失、製品の改造等によって生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。
- ※ 本書に記載の使用方法およびその他の遵守すべき事項が守られないことで生じた損害に関し、当社は一切の責任を負いません。

電波法について

- 本機は小電力データ通信システムを搭載しており、技術基準適合を受けております。電池カバー内側に技術基準適合証明ラベルが張り付けてありますので、この証明ラベルをはがさないでください。はがして使用すると、電波法により罰せられることがあります。
- 分解はしないでください。分解したり改造することは、電波法で禁止されています。改造して使用した場合は、電波法により罰せられることがあります。



- サイクルコンピューターのように速度、経過時間など、走行中に必要な情報を表示できます。
- ※ 経過時間や走行距離などの計測・表示・記録を行うには、市販の microSD (2GB 以下の microSD、または 8GB 以下の microSDHC) カードが必要です。
(👉 39 ページ「サイクルコンピューターとして使う」)
経過時間や走行距離を記録し、表示できます。
表示できる項目は 26 種類から選べます。(26 種類の中から、メーター画面で最大 10 項目、地図画面で最大 2 項目表示することができます。)
別売オプションの接続により最大 14 項目追加できます。
メーター画面と地図画面はワンタッチで切り替えが可能です。
- 任意の時間や距離の経過をお知らせできます。
(👉 51 ページ「アラートを設定する」)
設定した任意の「時間」、「距離」、「速度」に応じて、画面表示とブザー音でお知らせします。
(ブザー音はオン/オフ設定変更が可能です。👉 119 ページ「システム設定について」)
- GPS マップだから、いつでも現在地を表示できます。
(👉 95 ページ「GPS マップとして使う」)(👉 100 ページ「目的地を設定する」)
見やすい全国地図、昭文社「MAPPLE デジタルデータ」を搭載しています。
地図上で現在地と目的地を直線で結び、目的地の方向と直線距離を示します。
- 目的地を検索できます。
(👉 102 ページ「目的地を検索する」)
検索方法は 50 音検索、業種別検索、電話番号検索、住所検索から選べます。
(業種別検索・電話番号検索…約 780 万件、住所検索…約 3600 万件)
地点登録を行えば、登録地点から検索、目的地設定することができます。
(登録可能件数は最大 100 件になっています。)
- 過去の走行履歴や走行軌跡を確認できます。
- ※ 走行履歴の記録や確認を行うには、市販の microSD (2GB 以下の microSD、または 8GB 以下の microSDHC) カードが必要です。
(👉 80 ページ「履歴を見る」)(👉 128 ページ「パソコンでの軌跡確認」)
記録した日を履歴閲覧カレンダー上に表示し、月/週/日/時間/ラップごとの走行履歴を表示します。
時間/ラップごとの走行軌跡を地図上に表示できます。
走行履歴とラップ履歴を保存し、読み出すことができます。
(👉 89 ページ「走行履歴の保存/読み出し」)

- 弊社ダウンロードソフト「ATLASTOUR Plus」/「ATLASTOUR Planner」が使用できます。
(👉 128 ページ「パソコンでの軌跡確認」)

< ATLASTOUR Plus >

移動ルートを確認

自動取得した位置情報(ログ機能)を Google Maps (TM) 上に軌跡表示できます。
サイクルツーリングやトレッキングのほか、ドライブのルートを地図上で確認できます。

デジカメ写真を地図上にリンク

デジタルカメラや携帯電話で撮影した写真を地図上の撮影ポイントに貼り付けることができます。

撮影ポイントがわからなくても自動的に貼りつけることができます。

速度、高度変化をグラフ表示

移動中の速度や高度の変化をグラフ表示することができます。

記録した走行データをさまざまなグラフで表示できトレーニングなどの参考にできます。

< ATLASTOUR Planner >

外部ログデータを読み込んで、本機にデータを転送

履歴などから選択したデータの距離と所用時間を確認できます。自身過去ログと外部ログデータ(GPX・KML) ファイルを PC から本機にインポート。本機地図画面にて表示できます。

移動ルートの作成

地図上の通りたいポイントを登録し、新たなルートを作成できます。また、記録した移動ルート(軌跡線)

を編集して新しいルートを作成することもできます。

※自動ルート作成機能はありません。

(👉 129 ページ「プロジェクトを見る(ATLASTOUR Planner)」)

ASG-CM21 ができること (オプション)

別売品の ANT+ スピードセンサー、ANT+ ケイデンスセンサー、ANT+ ハートレートセンサーを使用すると各 ANT+ センサーの情報が画面上で確認することができます。

(☞ 70 ページ「ANT+ ハートレートセンサー設定を行う」)

(☞ 73 ページ「自転車設定を行う」)

ANT+ (ワイヤレス) スピードセンサー



● GPS 情報による走行速度や走行距離の計測よりも高精度な走行速度や走行距離を計測できます。また GPS の電波が受けにくいトンネルやビルの谷間などでも正確な走行速度や走行距離を計測できます。

(☞ 62 ページ「表示項目一覧」)

● 一定範囲の速度や走行距離を設定すると、アラート表示します。

(☞ 49 ページ「速度アラートについて」)

(☞ 49 ページ「距離アラートについて」)

ANT+ (ワイヤレス) ケイデンスセンサー



● クランクの回転数を計測できます。

(☞ 62 ページ「表示項目一覧」)

● 一定範囲の回転数を設定すると、アラート表示します。

(☞ 50 ページ「ケイデンスアラートについて」)

ANT+ (ワイヤレス) ハートレートセンサー



● 心拍数を計測できます。

(☞ 62 ページ「表示項目一覧」)

● 一定範囲の心拍数を設定すると、アラート表示します。

(☞ 50 ページ「心拍アラートについて」)

ANT+ 規格について

- ANT+とは、スポーツ業界にて採用拡大中の2.4GHz ワイヤレスセンサーネットワーク規格です。



GPS 衛星について

GPS (グローバル・ポジショニング・システム) 衛星は、常に高精度な時間情報等を地球に向けて送信しています。本機は、この GPS 衛星を利用して得た現在の情報を地図データに重ねて表示しながら、目的地までの距離と方向を表示します。

誤差について

緯度・経度・高度・速度や地図上の現在地がズれている場合があります

GPS 衛星からの電波が良好に受信できる場所に移動すると、自動的に修正します。



誤差を生じる原因

- 周囲を高いビルに囲まれた場所や、高架下、トンネル内等、GPS 測位 (電波を受信) ができない場所
- 雪や雨等の悪天候の場合
- 携帯電話中継局など大きな電波の発生源が近くにある場所

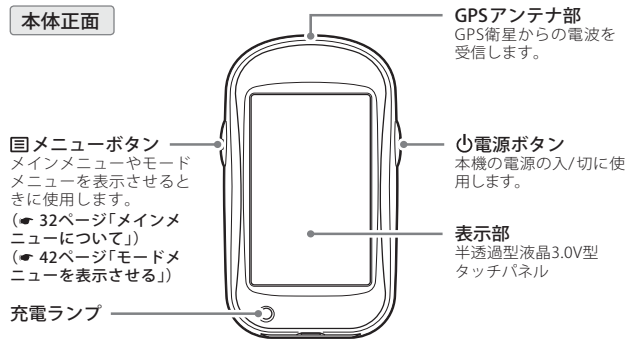
※ 通常、GPS 測位が完了するまで、約 10 秒から約 3 分かかりますが、初めてのご使用や、屋内、ビルの谷間など、GPS 衛星からの電波を受信しにくい状況では、測位に 20 分以上時間がかかる場合があります。

<電波の受信が途切れてしまう>

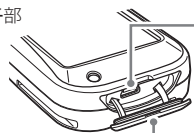
GPS の受信状況が悪くなり非測位になってしまうと、位置情報などの記録ができなくなります。

各部の名称と働き

本体正面



端子部

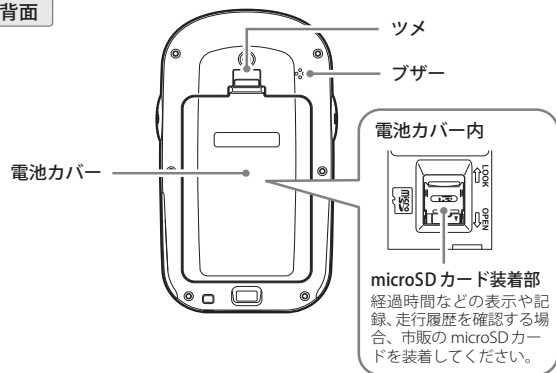


miniUSB 端子

付属しているACアダプターを接続し、充電を行います。
また、市販のUSBケーブルを接続し、パソコンによる充電や軌跡の確認ができます。

端子カバー

本体背面



各部の名称と働き (付属品・別売品)

付属品

- リチウムイオン電池 (バッテリー)
- AC アダプター
- 取扱説明書 (保証書)
- マウントブラケット一式
ホルダー (1個)
ブラケットホルダー (1個)
ラバーパッド (1枚)
結束バンド (3本)

別売品オプション

- ANT+ (ワイヤレス) スピードセンサー OP-ANTSP01 / 4,200円(税込)
- ANT+ (ワイヤレス) ケイデンスセンサー OP-ANTCA02 / 4,200円(税込)
- ANT+ (ワイヤレス) ハートレートセンサー OP-ANTHR03 / 9,450円(税込)
- 5V コンバーター付シガープラグコード OP-E445(約3m) / 3,675円(税込)
- ※ お車のシガーソケットから充電できます。
- ベルトホルダー兼用キャリングケース OP-A005K / 1,575円 (税込)
- ストラップ (ブラック) OP-A002K / 840円 (税込)
- ストラップ (ピンク) OP-A002P / 840円 (税込)
- マウントブラケット一式 (角度選択タイプ) OP-A007 / 3,675円 (税込)
- ※ 角度付きスペーサーを付属しています。
- マウントブラケット一式 (固定タイプ) OP-A010 / 2,100円 (税込)
- ※ 付属のマウントブラケット一式と同じ内容です。
- 充電式リチウムイオン電池 OP-LB1100 / 5,250円(税込)
- ※ 付属品と同じリチウムイオン電池です。
- ※ 別売品については、予告なく変更したり、販売を終了する場合があります。あらかじめご了承ください。
- ※ microSDカードは付属されていません。走行経路や経過時間などを記録する際は、2GB以下microSDカード、または8GB以下のmicroSDHCカードを別途ご購入ください。
- ※ USBケーブルは付属されていません。

パソコンで走行経路や経過時間などを確認する際 (ATLASTOUR Plus / Planner)、または本機の充電を行う際は、「USB2.0ケーブルAコネクタオスーミニBコネクタオス (1m未満)」を別途ご購入ください。

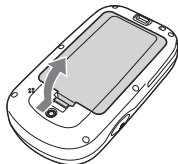


リチウムイオン電池の装着 / 取り外し

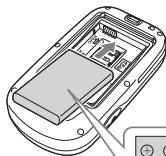
リチウムイオン電池の装着

1 電池カバーを外す

電池カバーのツメを押しながら上方へ引き上げます。

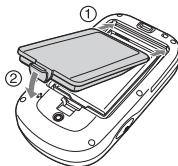


2 リチウムイオン電池の+ - が本体の電極端子に合うように入れる



3 電池カバーを取り付ける

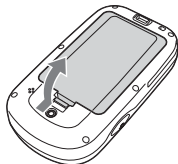
①の方向に差し込み、②の方向に下げ、ツメを固定します。



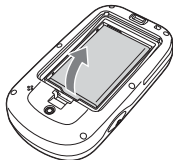
リチウムイオン電池の取り外し

1 電池カバーを外す

電池カバーのツメを押しながら上方へ引き上げます。



2 リチウムイオン電池を取り外す



お願い

不要になったリチウムイオン電池は金属部にセロハンテープなどの絶縁テープを貼って、お住まいの自治体の規則に従って正しくリサイクルしていただくか、最寄りのリサイクル協力店へお持ちください。リサイクル協力店につきましては、一般社団法人 JBRC のホームページ (<http://www.jbrc.net/hp>) をご参照ください。



リチウムイオン電池はリサイクルへ

※ 本機は、端子カバーや電池カバーをしっかり閉じ、隙間や浮きがない状態で IPX6 の防水機能を有しています。

microSD カードの装着 / 取り外し

市販の microSD カードに、走行経路や時刻などを記録することができます。

※ ログ記録間隔 1 秒 (● 64 ページ) で 1 日平均 3 時間記録した場合、2GB の microSD カードに約 3 年分のデータを残すことができます。

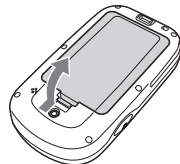
△注意：

- 2GB 以下の microSD カード、または 8GB 以下の microSDHC カードを別途ご用意ください。
- microSD カードの出し入れは、電源が切れた状態で行ってください。電源が入っていると、本機や microSD カードが壊れることがあります。
- microSD カードは一方方向にしか入りません。必ず下図手順で装着してください。microSD カードが正常に装着されていない状態でストッパーを閉めようとすると、本機が壊れることがあります。
- microSD カードを装着 / 取り外し後は、必ずストッパーを開けて、「LOCK」側へスライドさせてください。
- microSD カードとの相性による不具合については保証いたしかねます。

microSD カードの装着

1 電池カバーを外す

電池カバーのツメを押しながら上方へ引き上げます。



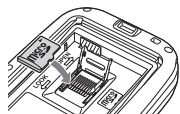
2 ストッパーを外す

ストッパーを OPEN 方向にスライドさせ、上に引き上げます。



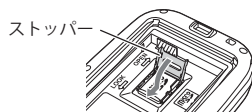
3 microSD カードを入れる

microSD カードの端子面が本体の端子に合うように入れてください。



4 ストッパーを閉める

ストッパーを倒し、LOCK 方向にスライドさせてロックします。

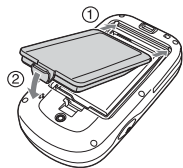


- 5** リチウムイオン電池の＋が本体の電極端子に合うように入れる



- 6** 電池カバーを取り付ける

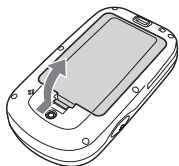
①の方向に差し込み、②の方向に下げ、ツメを固定します。



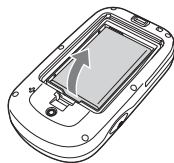
microSD カードの取り外し

- 1** 電池カバーを外す

電池カバーのツメを押しながら上方向へ引き上げます。



- 2** リチウムイオン電池を取り出す

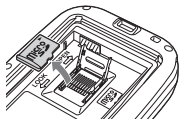


- 3** ストッパーを外す

ストッパーを OPEN 方向にスライドさせ、上に引き上げます。



- 4** microSD カードを取り出す



充電について

電池残量表示について

(☞ 31 ページ「インフォメーション画面について」)

	十分残っているとき
	少なくなっているとき
	ほとんど残っていないとき
	充電が必要なとき
	充電中

- リチウムイオン電池の容量が低下すると、『電池残量が低下しています。すぐに充電してください。』を表示します。
- リチウムイオン電池の残量が完全になくなると、自動的に電源が切れます。

使用可能時間の目安

満充電で

- エコモード オフ設定時 (☞ 119 ページ) : 約 4 時間
- エコモード オン設定時 (☞ 119 ページ) : 約 15 時間

※ オプションの ANT+ センサー (スピード、ケイデンス、ハートレート) を使用する場合は、使用可能時間が短くなります。

※ 充電しても使用可能時間が短くなった場合は、販売店に「ASG-CM21 用リチウムイオン電池」でご注文のうえ、新しい電池を購入し、交換してください。(☞ 20 ページ)

充電ランプについて

充電状況は、充電ランプの状態を確認できます。

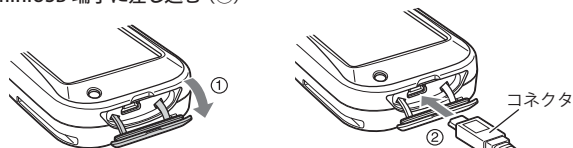
ランプ点滅	充電中
ランプ点灯	充電完了



リチウムイオン電池を充電する

付属の AC アダプターで充電できます。

- 1 本体下部の端子カバーを開き (①)、AC アダプターのコネクタを miniUSB 端子に差し込む (②)

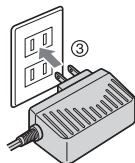


※ コネクターの向きに注意してください。

- 3 AC アダプターを AC100V コンセントに差し込む (③)

充電中は、インフォメーション画面に (🔋) を点滅表示します。

充電が完了すると (🔋) を表示します。



- 2 充電が完了したら AC アダプターをコンセントから抜き、本体からコネクタを抜く

約5時間で満充電になります。

- ※ 満充電になると、自動的に充電を停止します。
- ※ 本機の充電可能温度範囲は、0 ~ +45℃です。安全のため、高温時や低温時は充電ができません。
- ※ 本機は、端子カバーや電池カバーをしっかりと閉じ、隙間や浮きがない状態で IPX6 の防水機能を有しています。

パソコンからも充電できます

パソコンの電源を入れ、市販の USB ケーブルで本機とパソコンを接続してください。

- ※ パソコン本体の USB 端子に直接接続してください。USB のハブなどを經由して接続すると、容量不足で充電できないことがあります。
- ※ USB ケーブルは、「USB2.0 ケーブル A コネクタ オス - ミニ B コネクタ オス(1m 未満)」をご使用ください。

オートパワーオフについて

付属の AC アダプターを接続して充電し、無操作状態が5分間継続すると自動で電源がオフになります。

以下の場合にはオートパワーオフは動作しません

- ※ 経過時間や、走行距離などを計測しているとき。
- ※ パソコンから充電しているとき。

自転車への取り付けかた

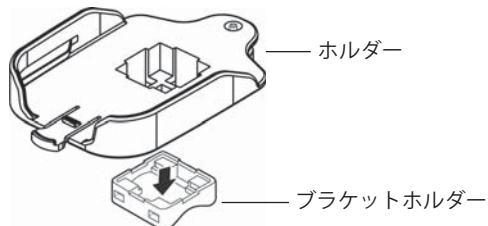
マウントブラケット（一式）の取り付けかた

本体を自転車へ取り付けるときは、付属のマウントブラケット（一式）を使用してハンドルやステムに固定します。

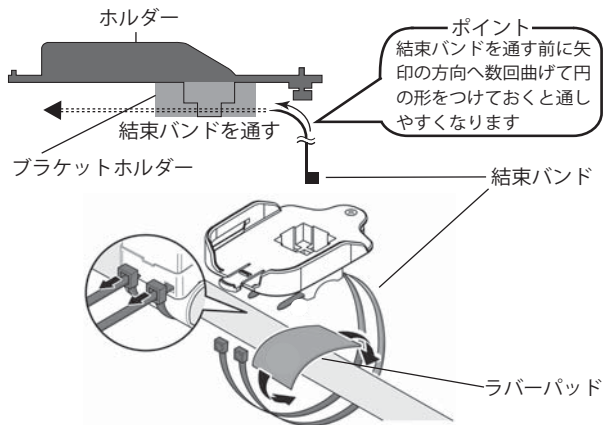
※ 自転車へ取り付けの際は、GPS 衛星の電波を受信しやすくするため、画面が上空に向くように取り付けてください。

※ 取り付けの際は、運転操作の妨げにならない位置に取り付けてください。

1 ホルダーをブラケットホルダーに取り付ける。



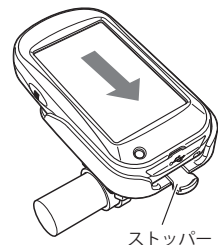
2 ブラケットホルダーに結束バンドを2本通す。ブラケットホルダーの下にラバーマットを巻き付け、結束バンドを使用してハンドルバーまたはステムに取り付ける。



※結束バンドは、取り付け後に不要部分を切り取ってください。

本体をブラケットに取り付ける / 取り外す

1 ストッパーで固定されるまで本体を矢印の方向にスライドさせる



2 ホルダー裏のネジを締めて本体を固定する



<本体の取り外し方>

本体の取り外すときは、ホルダー裏のネジを緩め、ストッパーを押し下げて本体を取り付け時と逆の方向にスライドさせてください。

電源ボタンについて

2秒以上押し続けると電源の入/切、短く押すとタッチパネルとメニューボタンの操作をロック/解除できます。

電源を入れる

電源ボタンを約2秒以上押す

電源が入り、開始画面が表示されたあと地図/メーター画面を表示します。

(☞ 29 ページ「地図/メーター画面について」)



電源を切る

電源ボタンを約2秒以上押す

終了画面が表示され、電源が切れます。

※ 電源を切ると、タッチパネルロックは解除されます。

タッチパネルロックについて

誤操作を防止するため、タッチパネルとメニューボタンの操作を禁止することができます。

タッチパネルのロック/解除方法

電源ボタンを短く押す

右図のロックメッセージが表示され、タッチパネルとメニューボタンの操作をロックします。

※ ロック中に各操作をしようとした場合も、右図が表示されます。

ロック中に再度電源ボタンを短く押すと、右図の解除メッセージが表示され、ロックを解除します。



<ロックメッセージ>



<解除メッセージ>

地図/メーター画面について

表示画面について
















<地図画面例>




<メーター画面例>

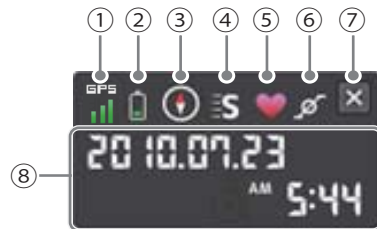
※ 表示項目設定により、画面とは表示が異なる場合があります。
(☞ 58 ページ「表示項目設定を変更する」)

①		メインメニューで選択した動作モードをアイコンで表示します。(☞ 32 ページ) ● 自転車モードの場合、  を表示します。 ● ランニングモードの場合、  を表示します。 ● ウォーキングモードの場合、  を表示します。
②	距離・速度表示	走行距離・速度を表示します。レイアウト、表示項目は変更できます。(☞ 58 ページ)
③	現在地表示	現在の位置を  で表示します。
④		本体に記録した経過時間や走行距離などのデータを消去します。(☞ 41 ページ)
⑤		区間の走行データを作ることができます。(☞ 40 ページ)
⑥	地図スケール	地図の縮尺を表示します。縮尺は 14 段階で、10 m~200 km まで変更できます。(☞ 95 ページ)
⑦		インフォメーション画面を表示します。(☞ 31 ページ)
⑧		タッチするたびに地図画面とメーター画面を切り替えます。
⑨	 (ノースアップ選択時)  (ヘッドアップ選択時)	方位をコンパスで表示します。赤の示す方向が北です。 (目的地や履歴などの表示はノースアップで表示します。)
⑩	地図	現在地と周辺の地図を表示します。
⑪	 	スタートにタッチすると経過時間や走行距離、現在地などの記録を開始し、ストップにタッチすると記録を停止します。(☞ 39 ページ)
⑫	現在住所	現在地の住所を表示します。

※ ④、⑤、⑪は、GPS 未測位時や microSD カード未装着時にはタッチできません。

インフォメーション画面について

 を押すと、インフォメーション画面を表示します。



①		GPS 衛星の電波を受信レベルを 4 段階で表示します。
②		リチウムイオン電池の残量を表示します。(☞ 23 ページ)
③		方位をコンパスで表示します。 赤の示す方向が北です。
④	 	GPS の電波を利用し「速度」を計測しているときに表示します。ランニングモード/ウォーキングモード選択時はスピードセンサーを接続していてもこのマークを表示し GPS 計測を行います。 スピードセンサーを接続しているときに表示します。GPS からスピードセンサーへ計測方法を切り替えます。(☞ 76 ページ「スピードセンサーの設定をする」)
⑤		ハートレートセンサーを接続しているときに表示します。(☞ 71 ページ「ハートレートセンサーの設定をする」)
⑥		ケイデンスセンサーを接続しているときに表示します。(☞ 74 ページ「ANT+ ケイデンスセンサーの設定をする」)
⑦		地図・メーター画面に戻ります。
⑧	日付・時刻	GPS 衛星から取得した日時を表示します。

メインメニューについて

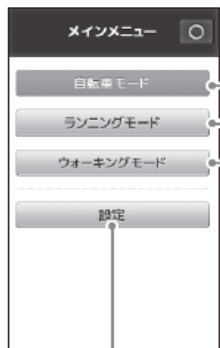
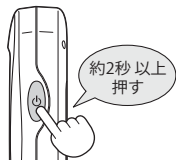
メインメニューでは、動作モードの選択やシステム設定、プロフィール設定、アクセサリ設定を選択できます。

メインメニューを表示させる

本体左側面のメニューボタンを2秒以上長押しすると、メインメニューを表示します。

現在選択中の動作モードはオレンジ色で表示されます。

※ 短く押した場合は、モードメニューとなります。



動作モードを選択します。

● [自転車]モード



を表示し、自転車での運動を想定した消費カロリー計算を行います。

● [ランニング]モード



を表示し、ランニングでの運動を想定した消費カロリー計算を行います。

● [ウォーキング]モード



を表示し、ウォーキングでの運動を想定した消費カロリー計算を行います。

システム設定 (● 119 ページ) プロフィール設定 (● 34 ページ) の選択画面を表示します。

動作モードについて

アイコンを除き、表示される項目や画面内容は基本的に同じですが、選択した動作モードに応じた消費カロリーの計算が行われます。

- 速度、距離、経過時間などの表示項目を、動作モードごとに設定できます。(● 58 ページ「表示項目設定を変更する」)
- 動作モードごとに走行距離や経路、時刻、消費カロリーを記録できる履歴として確認することができます。(● 80 ページ「履歴を見る」)
- 動作モードごとにログ記録間隔を設定できます。(● 64 ページ「ログ記録設定を変更する」)
- ANT+ スピードセンサーおよび ANT+ ケイデンスセンサーは自転車モードを選択した場合に使用できます。ランニングモードおよびウォーキングモードを選択した場合は設定や表示はされません。ANT+ ハートレートセンサーは全モードに対応します。

設定について

- システム設定は、時刻の表示形式 (12 時間制 / 24 時間制)、地図方向 (ヘッドアップ / ノースアップ)、ボタン操作音のオン / オフなど、全ての動作モードに共通に使用する設定内容を変更できます。(● 119 ページ「システム設定について」)
- プロフィール設定は、ご自身の性別や年齢、身長や体重を設定できます。この設定をすることでより正確な消費カロリーを算出できます。(● 34 ページ「プロフィールを入力する」)

プロフィール設定を行う

ご使用前にご自身の性別や年齢、身長や体重を入力することで、より正確なカロリー消費量を算出することができます。

※ プロフィールの入力を省略した場合は、初期値の条件（性別：男性、年齢：30歳、身長：170cm、体重：60kg）から消費カロリーを算出します。

プロフィールを入力する

- 1 本体左側面のメニューボタンを2秒以上長押しして、メインメニューを表示します。



- 2 **設定** にタッチする



- 3 **プロフィール設定** にタッチする
プロフィール設定画面を表示します。



- 4 **性別欄** にタッチし、男性/女性を選択する

タッチするたびに、男性/女性が切り替わります。



- 5 年齢を入力する

[年齢入力欄] にタッチすると、画面が切り替わるので、3桁の数値で年齢を入力してください。

以下、入力方法は(☞ 36ページ「数値入力画面について」)参照してください。

入力後、[決定] にタッチすれば、プロフィール設定画面に戻ります。



<数値入力画面>

- 6 身長を入力する

[身長入力欄] にタッチし、身長(4桁)を入力してください。入力後、[決定] にタッチすれば、プロフィール設定画面に戻ります。



- 7 体重を入力する

[体重入力欄] にタッチし、体重(5桁)を入力してください。

入力後、[決定] にタッチすれば、プロフィール設定画面に戻ります。



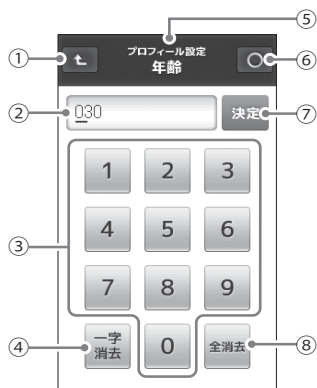
- 8 **戻る** にタッチする

システム設定、プロフィール設定の選択画面に戻ります。

(☞ 32ページ「メインメニューについて」)

数値入力画面について

時間や距離などの数値を入力する際に表示されます。



<年齢入力時の数値入力画面>

①		直前の画面に戻ります。
②	表示部	入力された数字を表示します。
③		数字を入力します。
④		入力済みの最後の数値を消去し、入力し直します。
⑤	タイトル	入力している項目を表示します。
⑥		地図/メーター画面に戻ります。
⑦		入力した数値が設定に反映されます。
⑧		入力した数値を取り消し、0にします。

<数値入力例>

1 [数字ボタン]にタッチして、入力をする

入力する位は、表示部にカーソル(アンダーバー)で表示されます。入力の際は、必ず最上位から順に入力してください。

◆年齢 < 25歳の場合>

入力値	表示
0	0 <u>30</u>
2	0 <u>2</u> 0
5	0 <u>25</u>

◆体重 < 75kgの場合>

入力値	表示
0	0 <u>60.00</u>
7	0 <u>70.00</u>
5	0 <u>75.00</u>
0	0 <u>75.00</u>
0	0 <u>75.00</u>

◆時間 < 50分30秒の場合>

入力値	表示
0	00:00: <u>00</u>
0	00:00: <u>00</u>
5	00:5 <u>0</u> :00
0	00:50: <u>00</u>
3	00:50: <u>30</u>
0	00:50: <u>30</u>

2 表示部に正しい数字が表示されたら、 にタッチする

数値入力画面へ切り替わる前の画面に戻ります。

- 数値入力項目には、下記のものがあります。

設定	入力項目	単位
プロフィール	年齢	才
	身長	cm
	体重	kg
アラート	時間	時 / 分 / 秒
	距離	km
	速度	km / h
	ハートレート	bpm
	ケイデンス	rpm

設定	入力項目	単位
自動ポーズ	速度	km / h
自動ラップ	距離	km
	時間	時 / 分 / 秒
ログ記録間隔	時間	秒
	距離	m
自転車設定	タイヤサイズ	mm
電話番号	電話番号	
エコモード	時間	秒
システム設定	高度	m

本機を使ってみる

ご使用の際は、自転車/ランニング/ウォーキングから、運動に合った動作モードを選択してください。

動作モードを選ぶ

- 1 本体左側面のメニューボタンを2秒間長押しして、メインメニューを表示します。



- 2 自転車/ランニング/ウォーキングから動作モードを選択する
地図/メーター画面を表示します。



- 各動作モードごとに表示項目が変更できます。

(☞ 58 ページ「表示項目設定を変更する」)



<自転車モードでの地図表示例>

※ 電源投入時に表示される画面は、前回電源を OFF にしたときの動作モードになります。

サイクルコンピューターとして使う

動作モードごとに GPS 測位による位置・時刻情報から、経過時間や走行距離、消費カロリーなどを表示し、microSD カードに記録します。

- ※ サイクルコンピューターとしてご使用いただく場合、市販の microSD カード (2GB 以下の microSD カード、または 8GB 以下の microSDHC カード) を別途購入のうえ、装着してください。

経過時間や走行距離の計測し、表示する [スタート/ストップ]

経過時間や走行距離の計測を開始、または停止するときに使います。

- ※ 速度、高度、気圧、方位、目的地の方向、日付、時刻はスタート/ストップに関わらず表示します。

- 計測や表示を開始する

経過時間や走行距離の計測を開始する場合、[スタート] にタッチしてください。[スタート] が [ストップ] に切り替わり、[ラップ] がタッチ可能になります。



- ※ [自動スタート] を [オン] に設定している場合は、自動スタートの条件に応じて自動的に [ストップ] に切り替わります。(☞ 55 ページ「自動スタートを設定する」)

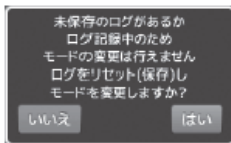
- 計測や表示を停止する

経過時間や走行距離の計測を停止する場合、[ストップ] にタッチしてください。[ストップ] が [スタート] に切り替わり、[リセット] がタッチ可能になります。



- ※ 自動ポーズ設定をすれば、走行速度や走行停止に応じて自動的にスタート/ストップを行います。(☞ 56 ページ「自動ポーズ / 自動ラップを設定する」)

※ 計測中は動作モードを変更することができません。計測中にメインメニューを表示させると、右図のメッセージが表示されますので、「はい」で [リセット (保存)] を行うか、「いいえ」で動作モードを保持してください。



ラップ計測・表示をする [ラップ]

経過時間や走行距離で区切られた区間のデータを計測することができます。

1 スタート にタッチする

[ラップ] がタッチ可能になります。



2 ラップ にタッチする

「ラップを記録しました」と表示し、スタートから現在までの走行データを「ラップ1」として記録します。また、再度 [ラップ] にタッチすれば、「ラップ1」以降に計測した走行データを「ラップ2」として記録します。



ラップを記録しました

- ※ 自動ラップ設定を行うと、設定した時間、または距離で自動的にラップを記録します。(● 56 ページ「自動ポーズ / 自動ラップを設定する」)
- ※ ラップは最大 100 件まで記録可能です。
- ※ すでに 100 件記録されている場合、「ラップ記録数が最大に達したためこれ以上ラップを記録できません」と表示され、追加記録はされません。

走行データをリセットする [リセット]

新たに走行記録を取り直したいときに使います。本機が記録している走行データを microSD カードに移します。

1 ストップ にタッチし、走行データの計測を停止する

[リセット] がタッチ可能になります。



2 リセット にタッチする

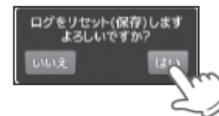
確認メッセージを表示します。



3 はい にタッチする

走行データを microSD カードに保存し、本機が記録している走行データを消去します。

- リセットを取り消したいときは[いいえ]にタッチしてください。

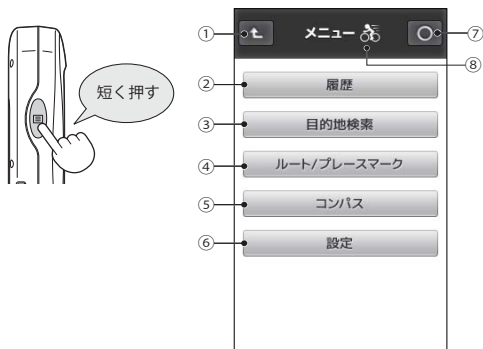


モードメニューを表示させる

モードメニューでは、走行履歴の確認や目的地の検索、また「ATLASTOUR Planner」で作成した走行ルートを図表に表示させたり、各動作モードごとに設定を変更できます。

本体左側面のメニューボタンを短く押すと、モードメニューを表示します。

※ 2秒以上押した場合は、メインメニュー（👉 32 ページ）になります。



①		モードメニューを表示する前の画面に戻ります。
②	履歴	走行履歴を確認できます。(👉 80 ページ)
③	目的地検索	目的地に設定したい場所を検索できます。(👉 102 ページ)
④	ルート/プレースマーク	走行履歴を保存したり、保存した走行履歴を地図表示させることができます。また「ATLASTOUR Planner」で作成したプロジェクトを地図表示させることができます。(👉 89 ページ) (👉 129 ページ)
⑤	コンパス	画面サイズのコンパスを表示します (👉 43 ページ)
⑥	設定	現在選択している動作モードの設定画面を表示します。
⑦		地図/メーター画面に戻ります。
⑧	動作モード	現在選択している動作モードをアイコンで表示します。

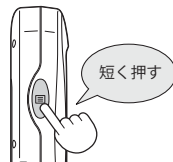
動作モードの設定を変更する

1 メニューボタンを短く押す

モードメニューを表示します。

自転車モードでは、 が表示されます。

※ 2秒以上押した場合は、メインメニューになります。



2 設定 にタッチする

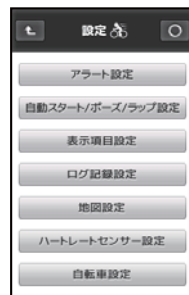
設定できる項目を表示します。



3 変更したい設定にタッチする

各設定画面を表示します。

アラート設定・・・・・・・・・・ (👉 47 ページ)
 自動スタート/自動ポーズ/
 自動ラップ設定・・・・・・・・ (👉 56 ページ)
 表示項目設定・・・・・・・・ (👉 58 ページ)
 ログ記録設定・・・・・・・・ (👉 64 ページ)
 地図設定・・・・・・・・ (👉 67 ページ)
 ハートレートセンサー設定・・ (👉 70 ページ)
 自転車設定・・・・・・・・ (👉 73 ページ)



<モード設定画面>

※ 動作モードをランニングモード/ウォーキングモードを選択している場合は「自転車設定」が表示されません。

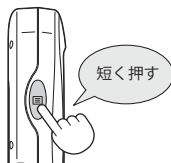
サイクルコンピュータで使う

コンパスを表示する

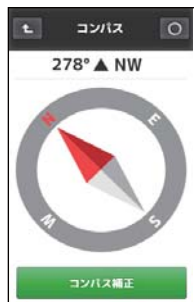
コンパスを表示する

画面サイズのコンパスが表示できます。


- 1 **メニューボタンを短く押す**
モードメニューを表示します。



- 2 **コンパス** にタッチする
画面サイズのコンパスが表示されます。



<コンパス表示>

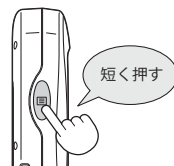
- 3 **地図/メーター画面にもどる場合には**  にタッチする
地図/メーター画面に戻ります。

コンパスを補正する

本機の方位表示と実際の方位にズレがあるとき、コンパスの補正を行ってください。

※ 磁気ネックレスやブレスレットなどの磁気を帯びているもの、または金属など磁気を妨げるものから 離れて補正を行ってください。

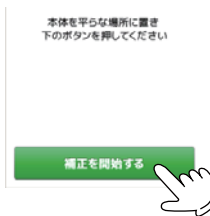
- 1 **メニューボタンを短く押してモードメニューを表示させ、** **コンパス** にタッチし、コンパスを表示させる



- 2 **コンパス補正** にタッチする



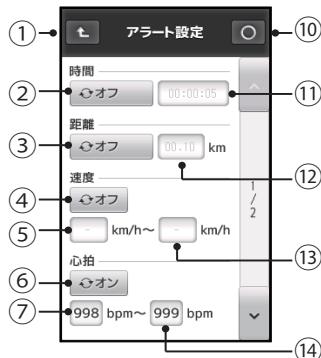
- 3 **本体を平らな場所に置き、** **補正を開始する** にタッチする



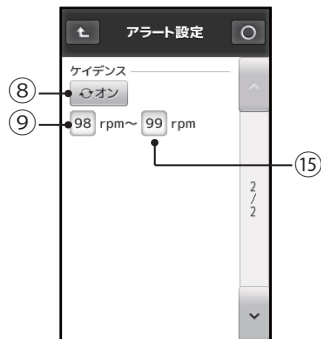
アラートを使う

一定の時間や距離を走行するたびに休憩したり、目標速度を維持して走行したりすることで、計画的なトレーニングができます。

- オプションの ANT+ センサーを接続することにより心拍数、ケイデンスもアラート設定をすることができます。
- アラート設定した速度や距離に応じて画面表示とブザー音でお知らせします。ブザー音はオン/オフの設定が可能です。(● 119 ページ「システム設定について」)



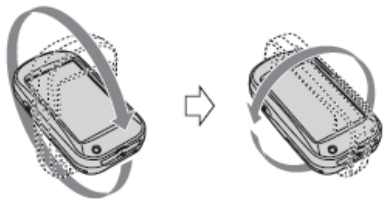
<アラート設定 1>



<アラート設定 2>

※ ランニングモード/ウォーキングモード選択時は、⑧・⑨・⑬を表示しません。(● 32 ページ「メインメニューを表示させる」)











4 下記のように、本機を回す





5 「補正を完了しました」が表示されたことを確認する


コンパス画面に戻ります。

- 『補正に失敗しました』が表示されたときは、[補正を開始する]か[補正を終了する]かを選択してください。
- 『球を描くように動かしてください』のままの場合は、再度、手順「4」を行ってください。

①		モード設定画面に戻ります。
②	時間アラート切り替え	タッチするたびに「オフ / 1回 / 繰り返し」を切り替えます。
③	距離アラート切り替え	タッチするたびに「オフ / 1回 / 繰り返し」を切り替えます。
④	速度アラート切り替え	タッチするたびに「オフ / オン」を切り替えます。
⑤	下限速度入力欄	下限速度を入力する数値入力画面を表示します。 ( 36 ページ)
⑥	心拍アラート切り替え	タッチするたびに「オフ / オン」を切り替えます。 (オプション)
⑦	下限心拍数入力欄	下限心拍数を入力する数値入力画面を表示します。 (オプション)( 36 ページ)
⑧	ケイデンスアラート切り替え	タッチするたびに「オフ / オン」を切り替えます。 (オプション) ※自転車モード時のみ
⑨	下限回転数入力欄	下限クランク回転数を入力する数値入力画面を表示します。 (オプション)( 36 ページ) ※自転車モード時のみ
⑩		地図 / メーター画面に戻ります。
⑪	時間入力欄	時間を入力する数値入力画面を表示します。 ( 36 ページ)
⑫	距離入力欄	距離を入力する数値入力画面を表示します。 ( 36 ページ)
⑬	上限速度入力欄	上限速度を入力する数値入力画面を表示します。 ( 36 ページ)
⑭	上限心拍数入力欄	上限心拍数を入力する数値入力画面を表示します。 (オプション)( 36 ページ)
⑮	上限回転数入力欄	上限クランク回転数を入力する数値入力画面を表示します。 (オプション)( 36 ページ) ※自転車モード時のみ

※ 心拍アラート、ケイデンスアラートはオプションを装着し、ハートレートセンサー設定および自転車モード設定を行った場合に設定と入力ができます。
( 70 ページ「ANT+ ハートレートセンサー設定を行う」)
( 73 ページ「自転車設定を行う」)


時間アラートについて

設定した時間が経過するとお知らせします。
時間アラート切替にタッチし、「1回」または「繰り返し」に切り替え、時間入力欄に数値入力画面で設定時間を入力します。
( 36 ページ「数値入力画面について」)

オフ	経過時間によるアラートをしません。
1回	設定した時間になるとアラートします。
繰り返し	設定した時間ごとに繰り返しアラートします。

※ 5秒未満の時間を設定することはできません。


距離アラートについて

設定した距離になるとお知らせします。
距離アラート切替にタッチし、「1回」または「繰り返し」に切り替え、距離入力欄に数値入力画面で設定距離を入力します。
( 36 ページ「数値入力画面について」)

オフ	距離によるアラートをしません。
1回	設定した距離になるとアラートします。
繰り返し	設定した距離ごとに繰り返しアラートします。

※ 100m 未満の距離を設定することはできません。

速度アラートについて

設定した上限 / 下限の速度内で走行しているとお知らせします。
下限または上限のみ、速度設定することもできます。
下限、または上限のみに速度を設定し、一方を「00.0」と入力した場合、設定した速度以下(上限のみ設定時)または設定した速度以上(下限のみ設定時)でアラートします。
( 36 ページ「数値入力画面について」)

オフ	速度によるアラートをしません。
オン	設定した速度内、または上限や下限速度になった場合、アラートし続けます。

● 下限、または上限を設定しないとき(設定速度以下、または設定速度以上でアラート)は「00.0」と入力してください。

心拍アラートについて

設定した上限／下限の心拍数の範囲内で走行している場合、アラートでお知らせします。下限または上限のみ、心拍数を設定することもできます。下限、または上限のみに心拍数を設定し、一方を「00.0」と入力した場合、設定した心拍数以下（上限のみ設定時）または設定した心拍数以上（下限のみ設定時）でアラートします。（☛ 36 ページ「数値入力画面について」）

オフ	心拍数によるアラートをしません。
オン	設定した心拍数内、または上限や下限回転数になった場合、アラートし続けます。

- 下限、または上限を設定しないとき（設定心拍数以下、または設定心拍数以上でアラート）は「00.0」と入力してください。

ケイデンスアラートについて


設定した上限／下限のクランク回転数の範囲内で走行している場合、アラートでお知らせします。下限または上限のみ、回転数設定することもできます。下限、または上限のみに回転数を設定し、一方を「00.0」と入力した場合、設定したクランク回転数以下（上限のみ設定時）または設定した速度以上（下限のみ設定時）でアラートします。（☛ 36 ページ「数値入力画面について」）

オフ	クランク回転数によるアラートをしません。
オン	設定したクランク回転数内、または上限や下限回転数になった場合、アラートし続けます。

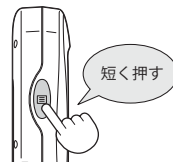
- 下限、または上限を設定しないとき（設定回転数以下、または設定回転数以上でアラート）は「00.0」と入力してください。
- ※ ランニングモード／ウォーキングモード選択時は、ケイデンスアラート設定を表示しません。

アラートを設定する

例>>>経過時間 50 分ごとに繰り返し時間アラート、速度が 20km/h 以下になったときに速度アラートを行い、距離アラートを行わない場合

- 1 メニューボタンを短く押してモードメニューを表示させ、 にタッチする

モード設定画面を表示します。



- 2  にタッチする

アラート設定画面を表示します。



- 3 時間は、 を選択する

タッチするたびに、オフ／1回／繰り返し順に切り替わります。



- 4 [時間入力欄] にタッチする

数値入力画面を表示します。（☛ 36 ページ「数値入力画面について」）

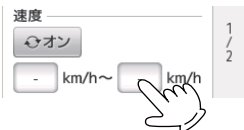


- 5** 数値入力画面で「00:50:00」と入力し、**決定** にタッチする
アラート設定画面に戻り、時間入力欄が「00:50:00」となります。

- 6** 速度は、**オン** を選択する
タッチするたびに、オン/オフが切り替わります。

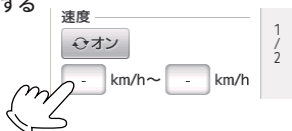


- 7** 右側の「上限速度入力欄」にタッチする
数値入力画面を表示します。



- 8** 数値入力画面で「20.0」と入力し、**決定** にタッチする
アラート設定画面に戻り、上限速度入力欄が「20.0」となります。

- 9** 左側の「下限速度入力欄」にタッチする
数値入力画面を表示します。



- 10** 数値入力画面で「00.0」と入力し、**決定** にタッチする
アラート設定画面に戻り、下限速度入力欄が「-」となります。

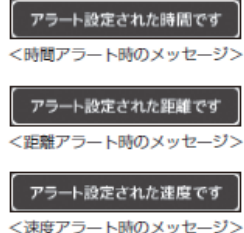
- 11** 距離は、**オフ** を選択する
タッチするたびに、オフ/1回/繰り返しの順に切り替わります。



- 12** **戻る** にタッチする
地図/メーター画面に戻ります。

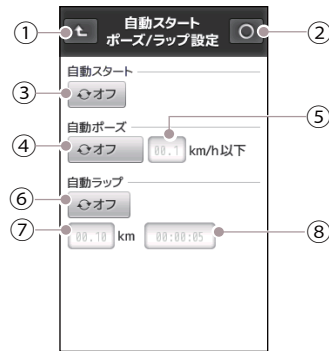
- 13** **スタート** にタッチする
設定した条件でアラートが行われます。

※ プザー音はオン/オフの設定が可能です。
(☞ 119 ページ「システム設定について」)



設定した速度によって計測を中止させたり、時間や距離に応じて自動的に区間とすることができます。

(☞ 39 ページ「サイクルコンピューターとして使う」)



<自動スタート/自動ポーズ/自動ラップ設定画面>

①		モードメニューの画面に戻ります。
②		地図/メーター画面に戻ります。
③	自動スタート切替	タッチするたびに「オン/オフ」を切り替えます
④	自動ポーズ切替	タッチするたびに、「オフ/停止時/速度」を切り替えます。
⑤	ポーズ速度入力欄	速度を入力する数値入力画面を表示します。 (☞ 36 ページ)
⑥	自動ラップ切替	タッチするたびに、「オフ/距離/時間」を切り替えます。
⑦	ラップ距離入力欄	距離を入力する数値入力画面を表示します。 (☞ 36 ページ)
⑧	ラップ時間入力欄	時間を入力する数値入力画面を表示します。 (☞ 36 ページ)

自動スタートについて

自動スタート切替を「オン」に設定すると、以下の条件のときに自動で計測を開始します。

- 電源を入れてから最初に GPS の電波を受信したとき。
 - 自動スタート切替を「オン」に設定してから最初に GPS の電波を受信したとき。
 - オプションのスピードセンサーを装着されて自転車設定を「使用する」に設定されているときはスピードセンサーの電波を受信したときに自動スタートを開始します。(動作モードを自転車モードに設定しているときのみ)
- ※ 自動で計測を開始するとは表示画面にある「スタート」が自動でタッチされた状態になります。(● 39 ページ「サイクルコンピューターとして使う」)
- ※ 自動スタートの切替を「オフ」にした後も「スタート」は「ストップ」をタッチするまで維持され、地図/メーター画面は「ストップ」を表示しています。
- ※ トンネルや高架下、ビルの谷間など GPS の電波を受信できない場所に入りふたたび GPS の電波を受信したときなどは自動スタートをおこないません。

オン	自動スタートを行います。
オフ	自動スタートを行いません。

自動ポーズについて

休憩や信号待ちなどで停止している場合、または低速で走行している場合自動的に計測を中止します。設定した速度になると自動的に計測を再開します。

オフ	自動ポーズを行いません。
停止時	時速 0km と判断すると、計測を中止します。走行を開始すると、自動的に計測を再開します。
速度	設定した速度以下になると、計測を中止します。設定した速度を超えれば、計測を再開します。

自動ラップについて

設定した経過時間や走行距離によって、自動的にラップを記録していきます。

オフ	自動ラップを行いません。
距離	設定した距離を走行するたびに、ラップを記録します。
時間	設定した時間が経過するたびに、ラップを記録します。

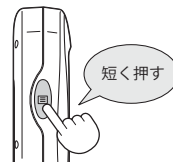
- ※ 自動ラップを設定し、走行中に画面上の「ラップ」にタッチすると、タッチした地点までが 1 ラップとなり、以降、「ラップ」にタッチした地点から設定されている走行距離や経過時間で自動ラップを行います。
- ※ 自動ラップに 100m 未満の距離、5 秒未満の時間を設定することはできません。

自動スタートを設定する

例>>>自動スタートを使う場合

- 1 メニューボタンを短く押ししてモードメニューを表示させ、**設定** にタッチする

モード設定画面を表示します。



- 2 **自動スタート/ポーズ/ラップ設定** にタッチする

自動スタート / ポーズ / ラップ設定画面を表示します。



- 3 自動スタートの **オン** を選択する

タッチするたびに、オフ / オンを繰り返します。



- 4 **戻る** にタッチする

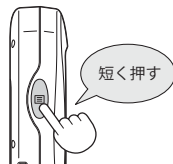
地図 / メーター画面に戻ります。

自動ポーズ／自動ラップを設定する

距離 20km ごとを新たなラップとし、時速 10km 以下での計測を中止する場合

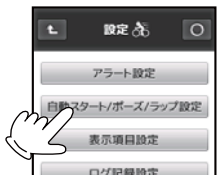
- 1 メニューボタンを短く押してモードメニューを表示させ、**設定** にタッチする

モード設定画面を表示します。



- 2 **自動スタート/ポーズ/ラップ設定** にタッチする

自動スタート/自動ポーズ/自動ラップ設定画面を表示します。



- 3 自動ポーズの **速度** を選択する

タッチするたびに、オフ/停止時/速度の順に切り替わります。



- 4 自動ポーズの速度入力欄にタッチする
数値入力画面を表示します。(☞ 36 ページ「数値入力画面について」)

- 5 数値入力画面で「10.0」と入力し、**決定** にタッチする

自動スタート/自動ポーズ/自動ラップ設定画面に戻り、速度入力欄が「10.0」となります。

- 6 自動ラップ切替の **距離** を選択する

タッチするたびに、オフ/距離/時間の順に切り替わります。



- 7 自動ラップの距離入力欄にタッチする
数値入力画面を表示します。(☞ 36 ページ「数値入力画面について」)

- 8 数値入力画面で「20.00」と入力し、**決定** にタッチする

自動スタート/自動ポーズ/自動ラップ設定画面に戻り、距離入力欄が「20.00」となります。

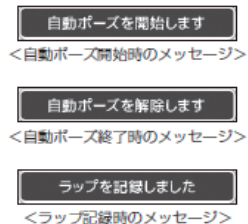
- 9 **地図** にタッチする

地図/メーター画面に戻ります。

- 10 **スタート** にタッチする

設定した走行距離、走行速度に応じて自動的に計測の中止/再開や、ラップの記録が行われます。

- 計測の中止/再開、ラップ記録時はメッセージを表示します。



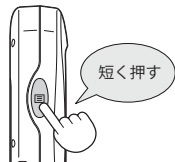
表示項目設定を変更する

地図／メーター画面で表示される経過時間、走行距離などの項目とそのレイアウトを変更できます。表示項目設定は、自転車、ランニング、ウォーキングの各動作モードごとに設定を保存できます。

表示項目とレイアウトを変更する

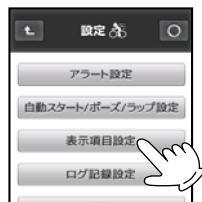
- 1 メニューボタンを短く押してモードメニューを表示させ、メニューを表示させ、にタッチする

モード設定画面を表示します。



- 2 表示項目設定 にタッチする

「地図表示」と「メーター表示」の選択画面を表示します。



- 3 設定変更したい表示形式ボタンを選択し、タッチする

選択した表示形式の設定変更画面を表示します。



- 4 [項目数] にタッチする

+ - を表示します。



- 5 + - にタッチして項目数を変更する

+ - にタッチするたびに項目が増減し、同時にレイアウトが変更されます。

地図表示の場合

2項目～表示項目なし（地図のみ）



メーター表示の場合

10 項目表示～ 4 項目表示

- **+** **-** で、表示させる項目数を変更できます。
- 5 項目表示と 6 項目表示の場合、それぞれ位置の異なる 2 種類のレイアウトがあります。



<10 項目表示>



<9 項目表示>



<8 項目表示>



<7 項目表示>



<6 項目表示-A>



<6 項目表示-B>



<5 項目表示-A>



<5 項目表示-B>



<4 項目表示>

6 変更したい項目枠の **変更** ボタンにタッチする

表示項目一覧を表示します。



7 表示させたい項目を選択する

表示項目が変更され、設定変更画面に戻ります。(👉 62 ページ「表示項目一覧」)



8 にタッチする

変更された地図／メーター画面を表示します。

表示項目一覧

<本機標準表示項目1>

項目	項目の意味
タイム	[スタート] にタッチしてからの経過時間
ラップタイム	現ラップの経過時間
前回ラップタイム	前回のラップで費やした時間
停止時間☆	[スタート] にタッチしてからの停止していた時間 ※ 自動ポーズの設定が有効の場合
走行時間☆	[スタート] にタッチしてからの「タイム」と「停止時間」を合計した時間
距離☆	[スタート] にタッチしてからの走行距離
ラップ距離☆	現ラップの走行距離
前回ラップ距離☆	前回のラップで走行した距離
速度☆	GPS またはスピードセンサーから検出した速度
平均速度☆	[スタート] にタッチしてからの速度の平均
最高速度☆	[スタート] にタッチしてから現在までに計測した最高の速度
ラップ平均速度☆	現ラップの平均速度
ラップ最高速度☆	現ラップの最高速度
前 Lp 平均速度☆	前回のラップの平均速度
前 Lp 最高速度☆	前回のラップの最高速度

※ 表☆印の表示項目はオプションの ANT+ スピードセンサーの接続により、GPS 計測値からセンサー計測値へ切り替わる表示項目です。(全12項目)

<ハートレートセンサー装着による表示可能項目>

心拍	現在の心拍数
平均心拍	[スタート] にタッチしてからの心拍数の平均
最大心拍	[スタート] にタッチしてから現在までに計測した最大心拍数
ラップ平均心拍	現ラップの平均心拍数
ラップ最大心拍	現ラップの最大心拍数
前 Lp 平均心拍	前回のラップの平均心拍数
前 Lp 最大心拍	前回のラップの最大心拍数

<ケイデンスセンサー装着による表示可能項目>

項目	項目の意味
ケイデンス	現在のケイデンス
平均ケイデンス	[スタート] にタッチしてからのケイデンスの平均
最大ケイデンス	[スタート] にタッチしてから現在までに計測した最大のケイデンス
Lp 平均ケイデンス	現ラップの平均ケイデンス
Lp 最大ケイデンス	現ラップの最大ケイデンス
前 Lp 平均ケイデンス	前回のラップの平均ケイデンス
前 Lp 最大ケイデンス	前回のラップの最大ケイデンス

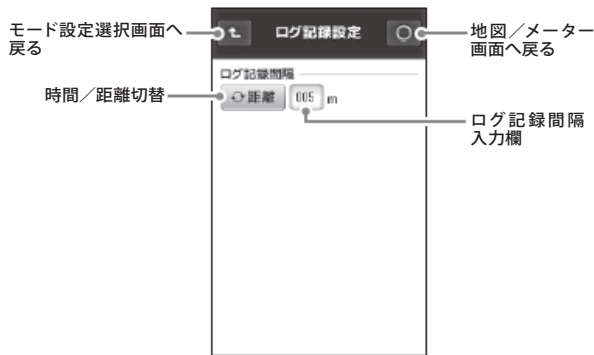
<本機標準表示項目2>

ラップ数	[スタート] にタッチしてから記録したラップの数
高度	現在の高度
気圧	現在の気圧
方位	コンパスを表示し、北を赤で示します。
勾配	坂道の勾配をパーセント (%) で示します
カロリー	[スタート] にタッチしてから現在までの消費カロリー
累積標高 (+)	[スタート] にタッチしてからのすべての上り標高を合計した標高
累積標高 (-)	[スタート] にタッチしてからのすべての下り標高を合計した標高
目的地方向	目的地の方向
日付	現在の年月日
時刻	現在の時刻

※ 高度に関する注意:高度は気圧から算出し、GPS から受信する位置情報によって自動補正します。自動補正は、電源投入後に GPS の電波受信状況が良くなると行われ、補正されるまでは高度をグレーの文字で表示します。「システム設定」にある「高度補正」を行った場合はそちらが優先されます。(124 ページ「高度を補正する」)

ログ記録設定を変更する

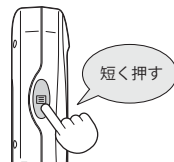
位置などの情報を記録する間隔を変更できます。



ログ記録間隔を変更する

例>>>ログ記録間隔を 15m に変更する場合

- 1 メニューボタンを短く押ししてモードメニューを表示させ、設定 にタッチする
モード設定画面を表示します。



- 2 ログ記録設定 にタッチする
ログ記録設定画面を表示します。



- 3 ログ記録間隔の 距離 を選択する




ログ記録設定について

- 記録する間隔を時間 (秒) または距離 (m) から選択し、001 ~ 999 の値で指定します。
- ログ記録間隔を短く設定すると、詳細な軌跡を表示(89 ページ) できますが、microSD カードの使用量が 증가します。
- ※ ログ記録間隔1秒で1日平均3時間記録した場合、2GBのmicroSDカードに約3年分のデータが残せません。
- ※ 初期値はログ記録間隔が時間(1秒)に設定されています。

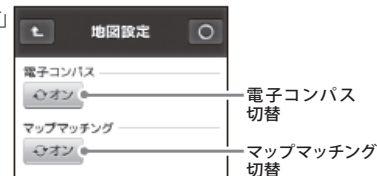
4 ログ記録間隔の数値入力欄にタッチする
数値入力画面を表示します。(☞ 36 ページ「数値入力画面について」)

5 数値入力画面で [0]、[1]、[5] と 3 桁の数値を入力し、**決定** にタッチする
ログ記録設定画面に戻り、ログ記録間隔入力欄が「015」となります。

6  にタッチする
地図/メーター画面に戻ります。

地図設定を変更する

地図画面で使う「電子コンパス」、「マップマッチング」の設定を変更できます。




電子コンパスについて

地磁気センサーのオン（使用する）、オフ（使用しない）が選択できます。
オンにした場合、地磁気センサーと GPS の 2 通りの方法で方位を判断します。

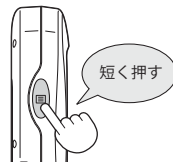
オン	停止中や、低速走行中は地磁気センサーによる方位表示を行い、走行速度が上がると、GPS 測位により方位を表示します。 ※ 磁気を発するものの近くでは、方位を正しく表示できないことがあります。
オフ	地磁気センサーを使用せず、GPS 測位により方位を表示します。 ※ 停止中や低速走行時は測位地点の変化を検出できず、方位を正しく表示できないことがあります。

電子コンパスを設定する

動作モードごとに、地磁気センサーのオン（使用する）/オフ（使用しない）が設定できます。

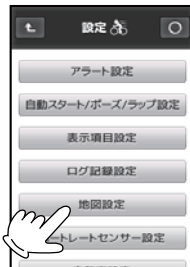
1 メニューボタンを短く押してモードメニューを表示させ、 にタッチする

モード設定画面を表示します。



2 地図設定 にタッチする

電子コンパスとマップマッチングの選択画面を表示します。



3 電子コンパスの「オン / オフ」を選択する

タッチするたびに、オン/オフが切り替わります。
※ 初期設定では「オン」に設定されています。



マップマッチングについて

道路から外れた表示となることを少なくします。

オン	マップマッチングを使用し、現在地の表示が道路上となるように補正します。
オフ	マップマッチングを使用せず、GPS 測定した位置をそのまま地図上に表示します。

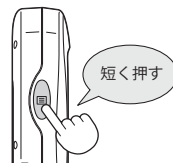
※ 山道など、地図上に道が存在しない場所を走行する際は、マップマッチングをオフにしてください。オンにしていると、マップマッチングによって道路上に表示しようとし、誤った現在地表示となることがあります。

マップマッチングを設定する

動作モードごとに、マップマッチング機能のオン/オフを設定します。

1 メニューボタンを短く押してモードメニューを表示させ、にタッチする

モード設定画面を表示します。



2 地図設定 にタッチする

電子コンパスとマップマッチングの選択画面を表示します。



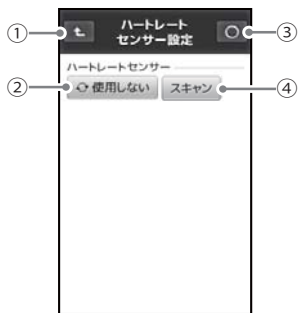
3 マップマッチングの「オン / オフ」を選択する

タッチするたびに、オン/オフが切り替わります。
※ 初期設定では「オン」に設定されています。



ANT+ ハートレートセンサー設定を行う

オプションのANT+ハートレートセンサーの接続設定ができます。ANT+ハートレートセンサーをスキャンして接続します。



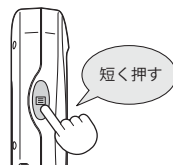
①		直前の画面に戻ります。
②		ANT+ ハートレートセンサーを使用する / 使用しないを選択します。タッチするたびに使用する / 使用しないが切り替わります。
③		地図／メーター画面に戻ります。
④	スキャン	タッチすると ANT+ ハートレートセンサーのスキャンを実行します。「ハートレートセンサーを使用する」に設定するとタッチできるようになります。

ハートレートセンサーの設定をする

あらかじめ ANT+ ハートレートセンサーを所定の位置に装着します。(使用状態にします) 取り付け方法は ANT+ ハートレートセンサーの取扱説明書をご覧ください。

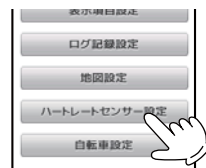
1 メニューボタンを短く押してモードメニューを表示させ、**設定**にタッチする

モード設定画面を表示します。



2 **ハートレートセンサー設定** にタッチする

ハートレートセンサー計設定画面を表示します。



3 **使用しない** をタッチし **使用しない** にする

タッチするたびに、使用しない / 使用するのアイコンが切り替わります。

ハートレートセンサーを [使用する] にすると [スキャン] がタッチできるようになります。



自転車設定を行う

オプションの ANT+ スピードセンサーおよび ANT+ ケイデンスセンサーの接続設定ができます。各 ANT+ センサーをスキャンして接続します。

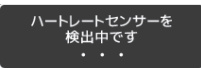
※ あらかじめご使用になる自転車に ANT+ スピードセンサーおよび ANT+ ケイデンスセンサーを取り付けてください。取り付け方法は各 ANT+ センサーの取扱説明書をご覧ください。

4 スキャン にタッチする

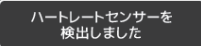
スキャンを開始します。



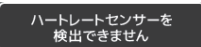
スキャン中は「ハートレートセンサーを検出中」と表示します。



「ハートレートセンサーを検出しました」と表示し、「ビッ!」と鳴りましたら接続は成功です。[心拍計設定]画面に戻ります。



「ハートレートセンサーを検出できません」と表示し、「ビッ!」と鳴った場合は接続は失敗です。ハートレートセンサーを確認してもう一度「3」からやり直してください。



<自転車設定画面>

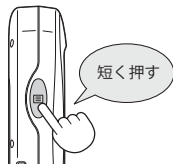
- ※ ANT+ ハートレートセンサーは心拍を検出していない状態では数分後に自動で電源が OFF になります。電源が OFF の状態では接続できませんので、所定の位置に装着してから接続を行ってください。
- ※ 一度接続した ANT+ ハートレートセンサーは本機に登録され、次回は電源を入れるだけでそのまま使用することができます。本機と接続しているときはインフォメーション画面にアイコンが表示されます。
(📖 31 ページ「インフォメーション画面について」)

①		直前の画面に戻ります。
②		地図/メーター画面に戻ります。
③		ケイデンスセンサーを使用する / 使用しないを選択します。タッチするたびに使用する / 使用しないが切り替わります。
④	スキャン	タッチするとケイデンスセンサーのスキャンを実行します。ケイデンスセンサーを「使用する」に設定するとタッチできるようになります。
⑤		スピードセンサーを使用する / 使用しないを選択します。タッチするたびに使用する / 使用しないが切り替わります。
⑥	スキャン	タッチするとスピードセンサーのスキャンを実行します。スピードセンサーを「使用する」に設定するとタッチできるようになります。
⑦	タイヤサイズ	自転車のタイヤサイズ(円周)を入力します。タッチするとタイヤサイズ一覧が表示されます。
⑧	タイヤサイズ表示	入力したタイヤサイズ(円周)を表示します。初期値は 2120mm が入力されています。

ANT+ ケイデンスセンサーの設定をする

- 1 メニューボタンを短く押してモードメニューを表示させ、**設定** にタッチする

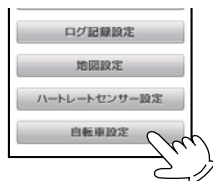
モード設定画面を表示します。



- 2 **自転車設定** にタッチする。

[自転車設定] 画面が表示されます。

- ※ 動作モードが [ランニングモード] または [ウォーキングモード] に設定されている場合は [自転車設定] が表示されません。スピードセンサーを設定するときは [自転車モード] に切り替えてください。(● 32 ページ「メインメニューを表示させる」)



- 3 ケイデンスセンサーの **使用しない** をタッチし **使用しない** にするにする

タッチするたびに、使用しない/使用するのアイコンが切り替わります。

ケイデンスセンサーを [使用する] にすると、右側にある [スキャン] がタッチできるようになります。



- 4 クランクを回転させて、**スキャン** にタッチする

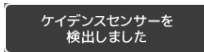
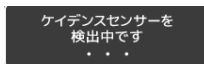
スキャンを開始します。



スキャン中は「ケイデンスセンサーを検出中」と表示します。

「ケイデンスセンサーを検出しました」と表示し、「ビッ!」と鳴りましたら接続は成功です。[自転車設定] 画面に戻ります。

「ケイデンスセンサーを検出できません」と表示し、「ビッビッ!」と鳴った場合は接続は失敗です。スピードセンサーを確認してもう一度「3」からやり直してください。

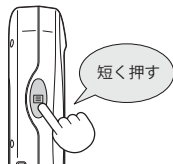


- ※ ケイデンスセンサーはクランクの回転を検出していない状態では自動で電源が切れます。電源が切れている状態では接続できませんので、接続を行う前にクランクを回転させてから接続を行ってください。
- ※ 一度接続したケイデンスセンサーは本機に登録され、次回は電源を入れるだけでそのまま使用できます。本機と接続しているときはインフォメーション画面にアイコンが表示されます。(● 31 ページ「インフォメーション画面について」)

スピードセンサーの設定をする

- 1 メニューボタンを短く押してモードメニューを表示させ、メニューを表示させ、にタッチする

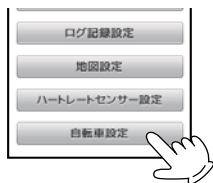
モード設定画面を表示します。



- 2 「自転車設定」にタッチする。

「自転車設定」画面が表示されます。

- ※ 動作モードが「ランニングモード」または「ウォーキングモード」に設定されている場合は「自転車設定」が表示されません。スピードセンサーを設定するときは「自転車モード」に切り替えてください。(● 32 ページ「メインメニューを表示させる」)



- 3 スピードセンサーの「使用しない」をタッチし「使用する」にする

タッチするたびに、使用しない/使用するのアイコンが切り替わります。

ANT+ スピードセンサーを「使用する」にすると、右側の「スキャン」がタッチできるようになります。



- 4 タイヤを回転させて、「スキャン」にタッチする

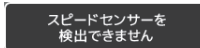
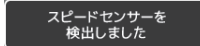
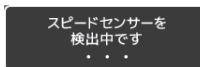
スキャンを開始します。



スキャン中は「スピードセンサーを検出中」と表示します。

「スピードセンサーを検出しました」と表示し、「ピッ!」と鳴りましたら接続は成功です。「自転車設定」画面に戻ります。

「スピードセンサーを検出できません」と表示し、「ピッピッ!」と鳴った場合は接続は失敗です。スピードセンサーを確認してもう一度「3」からやり直してください。



- ※ ANT+ スピードセンサーはタイヤの回転を検出していない状態では自動で電源が切れます。電源が切れている状態では接続できませんので、接続を行う前にタイヤを少し回転させてから接続を行ってください。

- 5 タイヤサイズを入力する

自転車のタイヤサイズ(円周) が 2120 mm 以外の場合は入力してください。

(● 78 ページ「タイヤサイズを入力をする」)

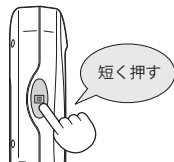
- ※ 一度接続した ANT+ スピードセンサーは本機に登録され、次回は電源を入れるだけでそのまま使用できます。本機と接続しているときはインフォメーション画面にアイコンが表示されます。(● 31 ページ「インフォメーション画面について」)

タイヤサイズを入力をする

スピードセンサー追加された場合にはタイヤサイズを入力する必要があります。使用する自転車のタイヤサイズ（タイヤ円周）が2120mmの場合は入力する必要はありません。

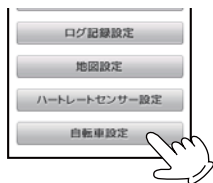
- 1 メニューボタンを短く押してモードメニューを表示させ、メニューを表示させ、にタッチする

モード設定画面を表示します。



- 2 「自転車設定」にタッチする。
[自転車設定]画面が表示されます。

※ 動作モードが[ランニングモード]または[ウォーキングモード]に設定されている場合は[自転車設定]が表示されません。スピードセンサーを設定するときは[自転車モード]に切り替えてください。(32ページ「メインメニューを表示させる」)



- 3 タイヤサイズの「一覧を表示」にタッチする

「タイヤサイズ一覧」が表示されます。



- 4 自転車のタイヤサイズを探してタッチする

前画面に戻ります。

「タイヤサイズ一覧」の中に自転車のタイヤサイズが無い場合は一覧の一番下に数値入力画面にタッチします。「数値入力画面」で自転車のタイヤサイズ（円周）を入力してください。

(36ページ「数値入力画面について」)

※ 「0」mmは入力できません。



- 5 にタッチして前の画面に戻る

前画面に戻ります。入力したタイヤサイズ（円周）を確認してください。



履歴を見る

microSD カードに記録した走行データ (39 ページ「サイクルコンピューターとして使う」) を、走行履歴として確認することができます。

履歴閲覧カレンダー

走行データの有無や記録した日をカレンダーに表示します。

1 メニューボタンを短く押し、モードメニューを表示させる



2 履歴 にタッチする
履歴閲覧カレンダーを表示します。



- データが記録されている日をグレー(2)で、記録されていない日を白地(7)で表示します。
- ③、⑤、⑥は、走行データがないと表示されません。
- 走行データがない月は履歴閲覧カレンダーが表示されません。

<履歴閲覧カレンダー>

①		モードメニューに戻ります。
②		データがある年月を表示します。 タッチすると月間の走行履歴が確認できます。
③		前の月の履歴閲覧カレンダーを表示します。
④		地図/メーター画面に戻ります。
⑤		次の月の履歴閲覧カレンダーを表示します。
⑥		タッチすると週間の走行履歴が確認できます。

⑦ 1 ~ 31 タッチすると、選択した日の走行履歴が確認できます。

月間の走行履歴を見る

履歴閲覧カレンダーから、月間の走行履歴を表示できます。

1 履歴を見たい月を選ぶ

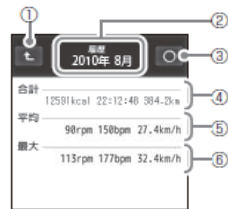
- ◀ または ▶ で目的の月を探し、年月表示にタッチします。
選んだ月の走行履歴を表示します。



2 選択した月の走行履歴を確認する

1カ月の合計消費カロリー、合計走行時間、合計走行距離、平均ケイデンス、平均心拍数、平均速度、最高ケイデンス、最高心拍数、最高速度を表示します。

- ※ ランニングモード、ウォーキングモード選択時はケイデンスの平均値/最大値を表示しません。



<月間走行履歴>

①		履歴閲覧カレンダーに戻ります。
②	年月表示	選択している履歴の年月を表示します。
③		地図/メーター画面に戻ります。
④	合計値	消費カロリー、走行時間、走行距離のそれぞれの合計を表示します。
⑤	平均値	選択している月に記録したケイデンス、心拍、速度の平均値です。
⑥	最大値	選択している月に記録したケイデンス、心拍、速度の最大値です。

週間の走行履歴を見る

履歴閲覧カレンダーから、週間の走行履歴を表示できます。

1 履歴を見たい週を選ぶ

◀ または ▶ で月を変更し、目的の週の上にある ▼ にタッチします。

選んだ週(日曜～土曜)の走行履歴を表示します。



例>>>

右図の場合、8月1日～8月7日に記録された走行履歴を表示します。

2 選択した週の走行履歴を確認する

1週間の合計消費カロリー、合計走行時間、合計走行距離、平均ケイデンス、平均心拍数、平均速度、最高ケイデンス、最高心拍数、最高速度を表示します。

※ ランニングモード、ウォーキングモード選択時はケイデンスの平均値/最大値を表示しません。



<週間走行履歴>

1 日の走行履歴を見る

希望日の走行履歴や時間別の履歴を確認することができます。

1 履歴を見たい日を選ぶ

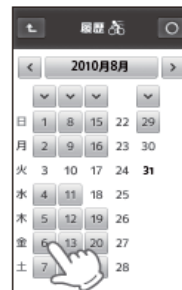
◀ または ▶ で月を変更し、目的の日

にタッチします。

選んだ日の走行履歴を表示します。

例>>>

右図の場合、8月6日の走行履歴を表示します。

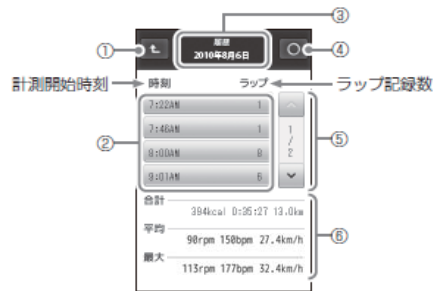


2 選択した日の走行履歴を確認する

合計消費カロリー、合計走行時間、合計走行距離、平均ケイデンス、平均心拍数、平均速度、最高ケイデンス、最高心拍数、最高速度を表示します。また、当日に複数の走行履歴が記録されている場合は、計測開始時刻とラップ記録数を表示します。

※ ランニングモード、ウォーキングモード選択時はケイデンスの平均値/最大値を表示しません。

※ 当日に複数の走行履歴があるときは、▲ ▼ で前後の走行履歴を表示します。



<日間走行履歴>

①		履歴閲覧カレンダーに戻ります。
②	時間履歴	走行データの計測開始時刻とラップ記録数を表示します。また、タッチすると選択した時間に記録された記録データを表示します。
③	年月日表示	選択している走行履歴の日付を表示します。
④		地図／メーター画面に戻ります。
⑤	スクロールボタン	にタッチすると、前後の走行履歴を表示します。
⑥	記録データ	当日に記録した消費カロリー、走行時間、走行距離、ケイデンス、心拍数、速度を表示します。

※ ランニングモード、ウォーキングモード選択時はケイデンスの平均値／最大値を表示しません。

3 見たい時刻の履歴を選ぶ

目的の時刻にタッチします。

選択した時刻の記録データを表示します。

※ 当日に複数の走行履歴があるときは、 で前後の走行履歴を表示します。



①	履歴消去	選択している走行履歴を消去します。 (☛ 88 ページ「履歴を消去する」)
②	Lp詳細	選択している走行履歴をラップごとに分割して表示します。 (☛ 85 ページ「ラップの履歴を見る」)
③	軌跡表示	選択している走行履歴の走行軌跡を地図上に表示します。 (☛ 87 ページ「走行履歴の軌跡を見る」)

ラップの履歴を見る

ラップごとの詳細記録を表示できます。

1 希望日の履歴から目的の時刻を選択する

(☛ 83 ページ「1日の走行履歴を見る」)

選択した走行履歴が青表示になり、[履歴詳細]、[Lp 詳細]、[軌跡表示] が表示されます。

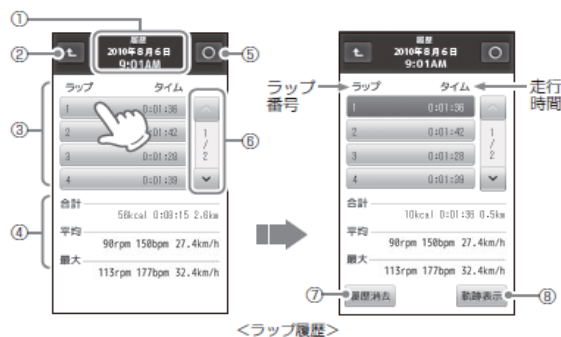
※ 選択した走行履歴のラップ記録数が1件の場合、[Lp 詳細] は表示されません。

2 Lp詳細 にタッチする

選択した走行履歴をラップごとに分割して、ラップ番号と走行時間で表示します。また、年月日の表示に計測開始時刻を追加表示します。






3 ラップ履歴にタッチする

合計、平均、最大の数値が、選択したラップで記録した値に変わります。



※ ランニングモード、ウォーキングモード選択時はケイデンスの平均値／最大値を表示しません。

①	日時表示	計測を開始した日時を表示します。
②		時間走行履歴の画面に戻ります。

③	ラップ履歴	ラップ番号と走行時間を表示します。また、タッチすると選択したラップに記録された記録データを表示します。
④	記録データ	選択しているラップで記録した消費カロリーや走行時間、走行距離や速度を表示します。
⑤		地図／メーター画面に戻ります。
⑥	スクロールボタン	  にタッチすると、前後の走行履歴を表示します。
⑦		選択している走行履歴を消去します。
⑧		選択している走行履歴の走行軌跡を地図上に表示します。

走行履歴の軌跡を見る

走行履歴の軌跡を地図上に表示させることができます。

1 希望日の履歴、または希望日のラップ履歴を表示させる

(☞ 83 ページ「1日の走行履歴を見る」)

(☞ 85 ページ「ラップの履歴を見る」)

2 目的の履歴を選択する

選択した履歴が青表示になり、画面に「軌跡表示」ボタンが表示されます。

(☞ 83 ページ「1日の走行履歴を見る」)

3 軌跡表示 にタッチする

走行軌跡を、地図上に赤色の点で表示します。

走行軌跡の開始ポイントを『スタート』と表示し、終了ポイントを『ゴール』と表示します。

※ 軌跡表示できる可能な地図スケールは1.0km以下となります。

(☞ 95 ページ「地図スケールを変更する」)



※ 無料ダウンロードソフト「ATLASTOUR Plus」を使うと、microSDカードに記録した位置情報を、GoogleMapやGoogleEarthに軌跡として表示させることができます。

(☞ 128 ページ「パソコンでの軌跡確認」)

履歴を消去する

microSD カードに記録されている履歴を消去できます。

1 希望日の履歴、または希望日のラップ履歴を表示させる

(☛ 83 ページ「1 日の走行履歴を見る」)

(☛ 85 ページ「ラップの履歴を見る」)

2 消去したい時間履歴、またはラップ履歴を選択する

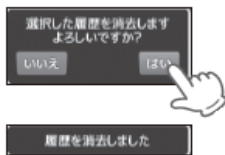
履歴が青表示になり、「履歴消去」が表示されます。

3 「履歴消去」にタッチする

確認メッセージが表示されますので、「はい」にタッチしてください。

「いいえ」にタッチすると、消去をキャンセルします。

「履歴を消去しました」と表示し、消去を完了します。



走行履歴の保存／読み出し

走行履歴（ルート）を本機の microSD カードに保存し、保存した走行履歴（ルート）を読み出すことができます。以前に走行したルートを再び走行する等に便利です。保存された走行履歴（ルート）は本機の microSD カード内「import」フォルダに GPX ファイルとして保存されます。

走行履歴（ルート）を保存する

履歴閲覧カレンダーより保存したい走行履歴を microSD カードへ保存します。

1 保存したい走行履歴を表示させる

走行履歴（ルート）を表示します。

(☛ 87 ページ「走行履歴の軌跡を見る」)

2 「importフォルダへコピー」にタッチする

microSD カード内の「import フォルダ」に GPX ファイルとして保存されます。保存終了後は、前画面にもどります。

履歴閲覧カレンダーより import フォルダへ保存されるときは名称は14ケタの数字で表されます。以前に同じ走行履歴（ルート）や名称を保存したことがある場合は上書きされます。



例>>>

2010年6月28日 7時12分(AM) (31秒)

2010 06 28 07 12 31 ← 14ケタの表示例

・名称の時間は24時間表示で表されます。

※ 履歴画面に秒の単位の表示はありません。

3 地図にタッチする

地図 / メーター画面に戻ります。

ラップの履歴を保存する

ラップ区間のルートを microSD カードへ保存します。

1 保存したいラップの履歴を表示させる

ラップの履歴 (詳細) を表示します

(☞ 85 ページ「ラップの履歴を見る」)

2 importフォルダへコピー にタッチする

micro SD カード内の「import フォルダ」に GPX ファイルとして保存されました。保存終了後は、前画面に戻ります。

履歴閲覧カレンダーより import フォルダへ保存されるときは名称は16ケタの数字で表されます。以前に同じ走行履歴 (ルート) や名称を保存したことがある場合は上書きされません。



例>>>

2010 07 02 14 32 31 _ 01

年 月 日 時 分 秒 Lap 番号1

・名称の時間は24時間表示で表されます。

※ 履歴画面に秒の単位の表示はありません。

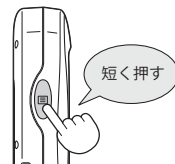
3 地図にタッチする

地図 / メーター画面に戻ります。

保存した走行履歴 (ルート) を読み出す

保存した走行履歴を読み出します。

1 メニューボタンを短く押してモードメニューを表示させ、メニューをタッチする



2 importフォルダ にタッチする

import フォルダ内に保存されている内容を表示します。



3 表示させたい走行履歴 (ルート) にタッチする

走行履歴 (ルート) を、地図画面に青色の点で表示します。

読み出した走行履歴（ルート）を地図画面に表示させる

読み出した走行履歴を地図画面に表示します。以前に走行したコースを再び走行する等のときに便利です。

1 ルートを地図画面に表示 にタッチするにタッチする

地図 / メーター画面に戻ります。

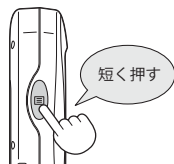


- ※ 地図 / メーター画面に戻ったときの画面について。GPSの電波を受信していれば現在位置を表示します。GPSの電波を受信していない状態では最後に受信した場所を表示します。読み出したルートを確認する場合はスクロールなどとして表示してください。

表示させた走行履歴（ルート）を地図画面から削除する

地図に表示した走行履歴（ルート）を削除します。

1 メニューボタンを短く押しモードメニューを表示させ、メニューを表示させ、にタッチする



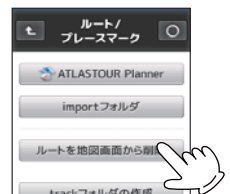
短く押し



2 ルートを地図画面から削除 にタッチする

地図に表示されている走行履歴（ルート）を削除します。タッチ後は「ルートを地図画面から削除」の文字が半透明になります。

- ※ 走行履歴（ルート）が表示されていない場合はタッチできません。



3 にタッチする

地図 / メーター画面に戻ります。

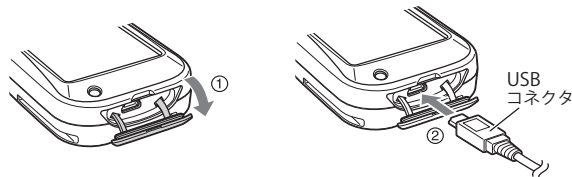
保存した走行履歴（ルート）／ラップ履歴を削除する

パソコンを使用し「import フォルダ」に保存した走行履歴（ルート）／ラップ履歴を削除します。

1 USB ケーブルを使用しパソコンに接続する

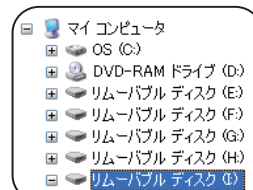
パソコンのUSBポートと本機をUSBケーブルで接続します。

- ※ USBケーブルは同梱されていません。別途ご用意ください。



2 パソコンの「マイコンピュータ」を開き、リムーバブルディスクを開く

本機はリムーバブルディスクとして認識されます。各リムーバブルディスクをダブルクリックして、下のようなディレクトリが表示されるものをさがしてください。



(I)ドライブを例としています。

3 「import」フォルダをダブルクリックしてフォルダを開く

「import」フォルダが開きます



ダブルクリック

<ディレクトリ例>

- ※ 不具合の原因となりますので、表示されたディレクトリの構成や名称を変更しないでください。

4 削除したいルート「(14ケタの数字/16ケタの数字). gpx」を右クリックして「削除」をクリックする

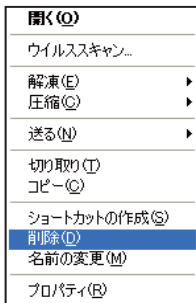
走行履歴(ルート)は14ケタの数字になります。
(☛ 89 ページ「走行履歴(ルート)を保存する」)

<例>



ラップの履歴は16ケタの数字になります。
(☛ 90 ページ「ラップの履歴を保存する」)

<例>



5 [ファイルの削除の確認]をする



削除の確認メッセージが表示されますので、[はい]をクリックしてください。
[いいえ]をクリックすると、削除をキャンセルします。

全国版 GPS マップとして使うことができ、常に現在地を確認できます。

(☛ 29 ページ「表示画面について」)
(☛ 136 ページ「地図記号について」)

現在地



メーター画面になっている場合は、
にタッチして、地図画面に切り替えてください。

地図スケールを変更する

地図の縮尺を変更することができます。

6 地図画面左下の[地図スケール]にタッチする

[地図スケール]の上に



+ : より詳細に表示

- : より広域を表示



7 **+** または **-** にタッチして地図スケールを変更する

地図スケールは 10 m、25m、50m、100m、200m、500m、1.0km、2.5km、5.0km、10km、20km、50km、100km、200km の 14 段階で切り替わります。

地図をスクロールする

地図画面から目的地を探したいときに、地図を移動(スクロール)させることができます。

1 地図表示部にタッチする

現在地表示(●)に、選択地のカーソル(☞)が重なって追加表示されず。

現在地へ戻る

選択地カーソル



2 表示させたい場所、またはその付近をタッチする

タッチした場所が中心となるように地図がスクロール(移動)し、中心がカーソル(☞)で表示されます。

タッチした位置が中心に移動する



8 ● にタッチすると、現在地付近の地図画面に戻ります。

地点を登録する

よく利用する目的地を「登録地点」として記憶させるときに使います。記憶させた場所は、「登録地点検索」で簡単に検索できます。

1 登録したい地点が表示されるまで地図をスクロールする

2 登録したい地点をタッチする

登録したい地点に選択地カーソル(☞)を合わせます。

3 ● にタッチする

完了メッセージを表示し、登録完了します。

地点を登録しました

※ 最大100件まで登録可能です。100件を超えて登録しようとする場合、「登録地点数が最大に達したためこれ以上地点を登録できません」と表示され、登録できません。

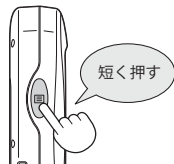
● 登録した地点の詳細を確認することができます。(☞ 98ページ「登録地点を確認/削除する」)



登録地点を確認 / 削除する

登録している地点は、次の手順で確認／削除できます。

- 1 メニューボタンを短く押してモードメニューを表示させ、**目的地検索** にタッチする



- 2 **登録地点** にタッチする
登録地点の一覧を表示します。



- 3 確認したい登録地点にタッチする
登録地点の詳細内容が表示されます。

記憶した登録地点は地図画面に青い●で表示されます。



登録地点を削除する

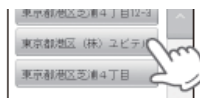
- 1 メニューボタンを短く押してモードメニューを表示させ、**目的地検索** にタッチする



- 2 **登録地点** にタッチする
登録地点の一覧を表示します。



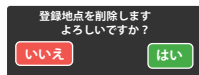
- 3 削除したい登録地点にタッチする
登録地点の詳細内容が表示されます。



- 4 **登録削除** にタッチする



確認メッセージが表示されますので、「はい」にタッチしてください。「いいえ」にタッチすると削除をキャンセルします。「登録地点を削除しました」と表示し、削除を完了します。




登録地点を削除しました

目的地を設定する


現在地から目的地までを直線で結び、目的地への直線距離と方向を表示します。

目的地を設定 / 消去する

1 地図画面を表示する

メーター画面のときは、 にタッチして地図画面に切り替えてください。

2 目的地を探す


地図をスクロールさせ、目的地を探します。(☞ 96 ページ「地図をスクロールする」) 希望する場所をタッチし、選択地カーソル () を目的地に合わせます。

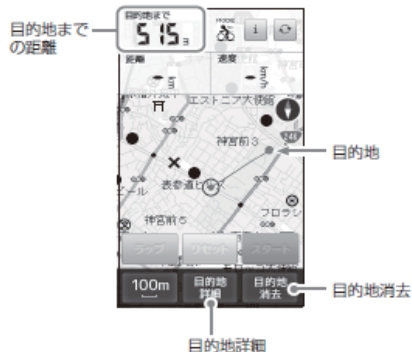
※ 現在地に戻るときは、 にタッチしてください。



- 登録地点や施設、住所を検索して探すこともできます。(☞ 98 ページ「登録地点を確認 / 削除する」) (☞ 102 ページ「目的地を検索する」)

3 画面右下の「目的地」にタッチする

選択地カーソル () が目的地のアイコン (赤●) に変わり、現在地との間を直線で結び、目的地までの方向を示します。また、メーター表示部上段に目的地までの直線距離を表示します。



- [目的地] にタッチすると、[目的地] が [目的地消去] に、[登録] が [目的地詳細] に変わります。
- [目的地詳細] にタッチすると、設定されている目的地の詳細情報が表示されます。(☞ 117 ページ「詳細画面について」)

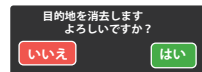
目的地を消去する

※ 目的地に到着しても、目的地設定は自動的に解除されません。

1 「目的地消去」にタッチする



確認メッセージが表示されますので、「はい」にタッチしてください。「いいえ」にタッチすると消去をキャンセルします。「目的地を消去しました」と表示し、消去を完了します。



目的地を消去しました

目的地を検索する

50音検索、業種別検索、電話番号検索、住所検索、登録地点検索の5種類から検索できます。

※ 50音検索、業種別検索、電話番号検索は、電話帳をベースとした施設(約780万件)が登録されております。プライバシー保護のため、個人宅は登録されていません。

50音で検索する場合

施設名を入力して検索し、目的地に設定できます。

1 メニューボタンを短く押してモードメニューを表示させ、**目的地検索**にタッチする



短く押す



2 **50音検索**にタッチする
都道府県選択の画面を表示します。



3 都道府県、市区町村の順に目的の地域を探してタッチする

↑や↓、または頭文字から、目的の地域を探し、タッチしてください。

施設名の50音検索画面を表示します。

※ 全国や選択した都道府県のすべての市町村から探す場合は、[全てのエリアを対象とする]にタッチしてください。



<都道府県選択の画面>

4 施設名を入力し、**決定**にタッチする

50音検索結果の画面を表示します。

- ※ 施設名の入力につきましては、(☞ 94ページ「50音検索画面について」)をご覧ください。
- ※ 該当する施設がない場合は、下記のメッセージを表示します。

該当する施設がありません



<50音検索画面>

5 50音検索結果の画面から、目的の施設を探してタッチする

詳細画面を表示します。

(☞ 117ページ「詳細画面について」)

- ※ タッチしている間は、文字がスクロールします。



<50音検索結果の画面>

6 **目的地に設定する**にタッチする

地図/メーター画面となり、目的地への方向と距離を表示します。

[地図確認]をタッチすると検索した場所の周辺地図が確認できます。



50音検索画面について

50音検索で施設名を検索する際に表示します。
「ひらがな」、「カタカナ」、「英字」、「数字」から検索できます。



<カタカナ入力画面>



<英字入力画面>



<数字入力画面>



No.	表示内容								
①	50音検索画面の直前の画面に戻ります。								
②	入力された文字を表示します。 入力できる文字数は、最大9文字です。								
③	<p>文字を入力します。 1つのボタンに複数の文字が割り当てられているため、タッチする回数によって入力される文字が切り替わります。</p> <p>同じ文字をタッチして、文字を切り替える場合は、2秒以内に行ってください。2秒以上経過すると、表示された文字が確定されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●「ひらがな」「カタカナ」は、表示されている行の文字を入力できます。 例1 ひらがな入力画面[か]にタッチする場合： <table border="1"> <tr> <td>タッチする回数</td> <td>1回 → 2回 → 3回 → 4回 → 5回 → 6回 →</td> </tr> <tr> <td>入力される文字</td> <td>か → き → く → け → こ → か →</td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> ●「英字（大文字）」は、表示されている文字を入力できます。 例2 英字入力画面[DEF]にタッチする場合： <table border="1"> <tr> <td>タッチする回数</td> <td>1回 → 2回 → 3回 → 4回 →</td> </tr> <tr> <td>入力される文字</td> <td>D → E → F → D →</td> </tr> </table>	タッチする回数	1回 → 2回 → 3回 → 4回 → 5回 → 6回 →	入力される文字	か → き → く → け → こ → か →	タッチする回数	1回 → 2回 → 3回 → 4回 →	入力される文字	D → E → F → D →
タッチする回数	1回 → 2回 → 3回 → 4回 → 5回 → 6回 →								
入力される文字	か → き → く → け → こ → か →								
タッチする回数	1回 → 2回 → 3回 → 4回 →								
入力される文字	D → E → F → D →								
④	カーソル位置を変更します。 同じ文字や同じ文字列を入力する場合は、2秒以上操作を行わないか、→ にタッチして、カーソルを移動させてから入力してください。								
⑤	入力した文字や英数字を1字消去します。								
⑥	入力した文字や英数字をすべて消去します。								
⑦	地図／メーター画面に戻ります。								
⑧	入力した文字を決定して検索します。								
⑨	タッチすることにより、「カタカナ」→「英字」→「数字」→「ひらがな」→…の入力画面が切り替わります。								

入力文字の割り当て

<ひらがな入力画面>

画面キー	入力できる文字
あ	あいうえお
か	かきくけこ
さ	さしすせそ
た	たちつてと
な	なにぬねの
は	はひふへほ
ま	まみむめも
や	やゆよ
ら	らりるれる
わ記号	わをんー
小文字 / 〃	小文字、濁音、半濁音

<カタカナ入力画面>

画面キー	入力できる文字
ア	アイウエオ
カ	カキクケコ
サ	サシスセソ
タ	タチツテト
ナ	ナニヌネノ
ハ	ハヒフヘホ
マ	マミムメモ
ヤ	ヤユヨ
ラ	ラルリレロ
ワ記号	ワヲンー
小文字 / 〃	小文字、濁音、半濁音

<英文字入力画面>

画面キー	入力できる文字
ABC	ABC
DEF	DEF
GHI	GHI
JKL	JKL
MNO	MNO
PQR	PQR
STU	STU
VWX	VWX
YZ	YZ
記号	ー

<英数字入力画面>

画面キー	入力できる文字
1	1
2	2
3	3
4	4
5	5
6	6
7	7
8	8
9	9
0	0

例 >>>

名称「ユピテル」をカタカナで検索するには…

- 同じ文字をタッチして、文字を切り替える場合は、2秒以内に行ってください。2秒以上経過すると、表示された文字が確定されます。

1 カタカナ にタッチする

カタカナ入力画面を表示します。



2 ヤ に2回タッチする

「コ」が入力されます。



3 ハ に2回タッチする

「ヒ」が入力されます。



4 小文字 に2回タッチする

「°」(半濁音)が入力されます。



5 タ に4回タッチする

「テ」が入力されます。



6 ラ に3回タッチする

「ル」が入力されます。



7 決定 にタッチする

検索結果の画面が表示されます。



8 目的の施設にタッチする

詳細画面を表示します。(▶ 117ページ「詳細画面について」)



業種別で検索する場合

業種別のカテゴリから検索し、目的地に設定することができます。

- 1 メニューボタンを短く押ししてモードメニューを表示させ、目的地検索にタッチする



- 2 業種別検索にタッチする

業種一覧を表示します。



- 3 業種一覧から目的のカテゴリにタッチする

業種によってはさらに詳細なカテゴリを表示することがあります。同様に目的のカテゴリにタッチしてください。

目的のカテゴリが決まると、都道府県一覧を表示します。



- 4 都道府県、市区町村の順に目的地を探してタッチする

▲や▼、または頭文字から、目的地の地域を探し、タッチしてください。

目的地の地域で該当する施設一覧を表示します。

- ※ 選択した地域に該当する施設がない場合は、下記のメッセージを表示します。

該当する施設がありません



- 5 目的の施設を探し、タッチする

詳細画面を表示します。(▶117ページ「詳細画面について」)

名称の前に(+)がついている施設は、さらに分類された施設一覧を表示します。



- 6 目的地に設定するにタッチする

地図/メーター画面となり、目的地への方向と距離を表示します。



[地図確認]をタッチすると検索した場所の周辺地図が確認できます。

電話番号から検索する場合

電話番号から検索し、目的地に設定することができます。

※ プライバシー保護のため個人宅の電話番号は登録されておりません。

- 1 メニューボタンを短く押して
モードメニューを表示させ、
目的地検索 にタッチする



- 2 電話番号検索 にタッチする



- 3 数値入力画面で電話番号の数値
を入力し、決定 にタッチする

詳細画面を表示します。(117 ページ「詳細画面について」)

- ハイフンの入力是不要です。
- 本機に登録されていない電話番号を入力すると、以下のようなエラーメッセージが表示され、再度数値入力画面に戻ります。

入力された電話番号に
該当する施設がありません



- 4 目的地に設定する にタッチする

地図/メーター画面となり、目的地
への方向と距離を表示します。

(100 ページ「目的地を設定する」)

[地図確認]をタッチすると検索した
場所の周辺地図が確認できます。

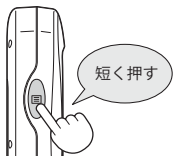


住所から検索する場合

住所から検索し、目的地に設定することができます。

- 1 メニューボタンを短く押してモードメニューを表示させ、

目的地検索 にタッチする



- 2 住所検索 にタッチする



- 3 都道府県、市区町村、以下目的の地域、丁目、番地を探してタッチする

↑ や ↓、または頭文字から目的の

地域を探し、タッチしてください。



- 4 目的の地名、番地を探してタッチする

詳細画面を表示します。(☞ 117 ページ「詳細画面について」)



- 5 目的地に設定する にタッチする

地図/メーター画面となり、目的地への方向と距離を表示します。

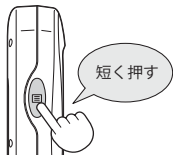
[地図確認]をタッチすると検索した場所の周辺地図が確認できます。



登録地点から検索する場合

「登録地点」として記憶させた地点から検索し、目的地に設定することができます。(● 89 ページ「地点を登録する」)

- 1 メニューボタンを短く押してモードメニューを表示させ、[目的地検索] にタッチする



- 2 [登録地点] にタッチする

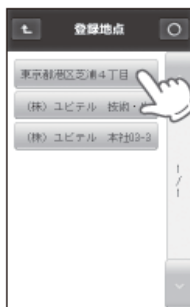
登録地点一覧を表示します。



- 3 登録地点の一覧から、目的の場所を探してタッチする

詳細画面を表示します。(● 117 ページ「詳細画面について」)

※ 登録してある地点を削除したいときは、(● 98 ページ「登録地点を確認 / 削除する」)を参照ください。



- 4 [目的地に設定する] にタッチする

地図／メーター画面となり、目的地への方向と距離を表示します。

[地図確認] をタッチすると検索した場所の周辺地図が確認できます。




詳細画面について








目的地や検索結果、登録地点の詳細情報を表示します。



①		直前の画面に戻ります。
②	詳細情報	住所、施設名、電話番号を表示します。(住所検索、または地図画面で選んだ目的地や記憶させた登録地点(登録地点検索含む)では施設名と電話番号が表示されません)

システム設定について


表示形式や音設定など、全ての動作モードに共通する動作設定の変更や状態の確認ができます。
設定を変更する場合は、変更したい項目で、希望する動作内容を選択・表示させたまま  にタッチしてください。

③	位置情報精度	50音検索や業種別検索、電話番号検索の結果の精度です。 実際の場所との一致度が高い場合を「高」と表示し、「中」→「低」となるに従い、実際の場所とズレている可能性があります。
④	現在地からの距離	現在地からの直線距離を表示します。
⑤	緯度・経度	目的地、登録地の緯度・経度を表示します。
⑥	 登録削除	表示している場所を「登録地点」から削除します。 ( 98 ページ) (登録済み地点のとき表示)
⑦	目的地設定	表示している場所を目的地に設定します。( 100 ページ) (目的地の詳細画面では表示されません)
⑧		地図/メーター画面に戻ります。
⑨	QRコード	緯度・経度情報をQRコードで表示します。
⑩	 地図確認	検索した場所の周辺地図が確認できます。
⑪	 登録	表示している場所を「登録地点」に登録します。 ( 97 ページ) (未登録地点のとき表示)

システム設定の項目一覧

設定

時刻表示形式

時刻表示を、12時間制と24時間制から選択できます。
( 121 ページ「システム設定を変更する」)
・初期設定は[12時間]です。


地図方向

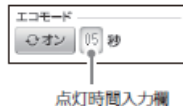
地図画面の表し方が選択できます。
ヘッドアップ：進行方向が上になるよう表示します。
ノースアップ：北が上になるよう表示します。
・初期設定は[ヘッドアップ]です。

エコモード


バックライトの点灯時間を変更できます。
エコモード オン：ボタンやタッチパネルを操作すると点灯します。
点灯時間は最大99秒まで1秒単位で設定できます。
エコモード オフ：電源オンの間、常にバックライトが点灯します。

◆点灯時間を設定するには、点灯時間入力欄にタッチし、数値入力画面で点灯時間を入力してください。

・初期設定は  オン、点灯時間「5秒」です。



ボタン操作音

操作時のブザー音を設定できます。
オン：操作時にブザー音が鳴ります。
オフ：操作時にブザー音を鳴らしません。
・初期設定は  オン です。

アラート音

アラート時のブザー音を設定できます。
 オン：アラート時にブザー音が鳴ります。
 オフ：アラート時にブザー音を鳴らしません。

・初期設定は「オン」です。

ログ記録領域使用状況

装着されている microSD カードの使用
 状況を表示します。



GPS 測位情報

[表示] にタッチすると、GPS の測位状況を表示します。
 (👉 126 ページ「GPS測位情報を見る」)

タッチパネル補正

タッチパネルの補正ができます。
 (👉 122 ページ「タッチパネルを補正する」)

高度補正

正確な高度が判明している場合に手動で補正ができます。
 (👉 124 ページ「高度を補正する」)

設定初期化

システム設定、プロフィール設定、動作モードの設定、現在地表示、
 地図スケールが初期値に戻ります。また、目的地設定を解除します。
 ※ microSD カードの記録内容は消去されません。microSD カード
 の記録内容を消去するときは履歴の消去を行ってください。
 (👉 88 ページ「履歴を消去する」)

システム情報

ソフトウェアなどのバージョンなどが表示されます。

システム設定を変更する

例 >>> 「時刻表示形式」 12 時間制から 24 時間制に変更する場合

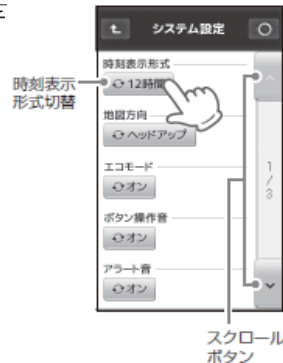
1 本体左側面のメニューボタンを 2
 秒以上長押しし、メインメニュー
 を表示させ、**設定** に
 タッチする



2 **システム設定** にタッチする
 システム設定画面を表示します。



3 時刻表示形式の **12時間** にタッチ
 し、**24時間** に変更する



スクロール
 ボタン

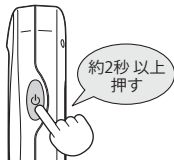
4 **地図** にタッチする

地図/メーター画面に戻ります。

タッチパネルを補正する

画面をタッチしたときの反応が悪いときやズレがあるとき、タッチパネルの補正を行ってください。

- 1 本体左側面のメニューボタンを2秒以上長押しし、メインメニューを表示させ、設定にタッチする



- 2 システム設定にタッチする
システム設定画面を表示します。



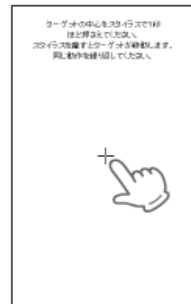
- 3 システム設定画面をスクロールさせ、タッチパネル補正の表示にタッチする



- 4 画面の指示に従いターゲット (+) にタッチする

補正内容の登録確認画面を表示します。

- ※ 画面にタッチする際は、爪先やツマヨウジなどでターゲット中心部を正確にタッチしてください。スタイラスは付属されていません。



- 5 30秒以内に画面タッチする

補正内容の設定を保存します。

- ※ 30秒経過すると、設定保存が取り消され、元の設定内容に戻ります。



高度を補正する

本機の高度表示と実際の高度にズレがあるときや、正確な高度が判明している場合に手動補正することができます。手動にて補正した高度は電源を切るまで保持します。手動で高度補正をした場合、電源を切るまでは自動補正は行われません。電源を一度切ると自動補正に切り替わります。
(☛ 62 ページ「表示項目一覧」)

- 1 本体左側面のメニューボタンを2秒以上長押しし、メインメニューを表示させ、**設定** にタッチする



- 2 **システム設定** にタッチする
システム設定画面を表示します。



- 3 システム設定画面をスクロールして高度補正の **実行** にタッチする



高度補正について選択画面が表示されます。確認メッセージが表示されますので、[はい]にタッチしてください。[いいえ]をタッチするとキャンセルされ、[システム設定]画面にもどります。



- 4 数値入力画面で高度の数値を入力し **決定** にタッチする

−9999～+9999まで入力できます。
(単位：メートル)
(☛ 36 ページ「数値入力画面について」)



+/- タッチするたびに「-/+」を切り替えます。
高度の単位を切り替えます。

- 5 **⊙** にタッチする

地図/メーター画面に戻ります。

GPS測位情報を見る

現在の衛星位置、衛星ナンバー、受信レベル、緯度、経度を確認することができます。



①		システム設定の画面に戻ります。
②	緯度・経度	現在地の緯度・経度を表示します。
③	衛星ナンバー・受信レベル	GPS 衛星の番号 (No.) と受信レベル (Lv) を色分けして表示します。 <ul style="list-style-type: none"> • Lv0 から Lv10 まで :「濃いグレー」 • Lv11 から Lv20 まで :「グレー」 • Lv21 から Lv30 まで :「ブルー」 • Lv31 以上は :「濃いブルー」
④		地図/メーター画面に戻ります。

- 1 本体左側面のメニューボタンを2秒以上長押しし、メインメニューを表示させ、**設定** にタッチする



- 2 **システム設定** にタッチする
システム設定画面を表示します。



- 3 システム設定画面をスクロールさせ GPS 測位情報の **表示** にタッチする



パソコンでの軌跡確認

本機に記録されているログデータをパソコンに転送し、専用ソフト「ATLASTOUR Plus」を使って走行軌跡を確認できます。

また、「ATLASTOUR Planner」を使って移動ルートを作成することができます。

別途ご用意いただくもの

- 本機の履歴が記録された microSD カード
- 市販の USB2.0 ケーブル A コネクタ オス・ミニ B コネクタ オス(1m 未満)
- インターネットに接続できる Windows パソコン
- 専用ソフト「ATLASTOUR Plus」 / 「ATLASTOUR Planner」

※ 専用ソフトは弊社ホームページから無償提供しております
<http://www.yupiteru.co.jp>

1 弊社ホームページより専用ソフト「ATLASTOUR Plus」 / 「ATLASTOUR Planner」をダウンロードし、パソコンにインストールする

2 「ATLASTOUR Plus」 / 「ATLASTOUR Planner」をインストール後、本機とパソコンを市販の USB ケーブルで接続する

- 専用ソフト「ATLASTOUR Plus」 / 「ATLASTOUR Planner」の使いかたに関しては弊社ホームページから、「ATLASTOUR Plus」 / 「ATLASTOUR Planner」の取扱説明書をご覧ください。

- ※ パソコンと本機を接続する前に、「ATLASTOUR Plus」 / 「ATLASTOUR Planner」をインストールしてください。
- ※ 初めてご使用の際は下記に記載されているプロダクトキーが必要になります。
- ※ パソコンと接続するときは、必ず本機の電源をお切りください。

プロダクトキーシール

ATLASTOUR Plus/ATLASTOUR Planner をご利用いただくためのプロダクトキーです。

詳細は、ATLASTOUR Plus/ATLASTOUR Planner の取扱説明書をご覧ください。

※ ATLASTOUR Plus/ATLASTOUR Planner は、弊社ホームページ (<http://www.yupiteru.co.jp>) より無料でダウンロードできます。

プロジェクトを見る (ATLASTOUR Planner)




「ATLASTOUR Planner」で作成し、本機へ転送したプロジェクトを本機の地図画面に表示することができます。

- 本機へのプロジェクトの転送方法や「ATLASTOUR Planner」の使い方に関しては弊社ホームページに登録されている「ATLASTOUR Planner」の取扱説明書をご覧ください。

<http://www2.yupiteru.co.jp/manual/index.html>

- ※ 取り込んだプロジェクトは本機で編集・削除はできません。プロジェクトの編集・削除は「ATLASTOUR Planner」にて行ってください



①		ルートを表示します。
②		プレースマーク (目印) を表示します。 本機ではファインダーポイントとプレースマークを同じ  で表します。

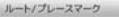
チェックポイントの名称を表示します。表示可能文字数は全角/半角ともに10文字までです。Plannerにて10文字以上で入力されている場合は、10文字以降を"... "で表示されます。半角の濁点は2文字とします。

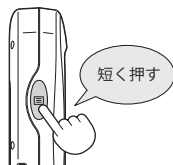


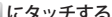
microSD カードに「track」フォルダを作成する

新品の microSD カード、または microSD カードをフォーマットしてから、1度も本機でログ（走行履歴）を保存したことが無い microSD カードを使用する場合は「ATLASTOUR Planner」からプロジェクトが転送できません。転送ができない場合は microSD カードに「track」フォルダを作成する必要があります。（☞ 41 ページ「走行データをリセットする [リセット]」）

※ 1度でも、本機でログ（走行履歴）を保存したことがある場合は、microSD カードへ「track」フォルダを作成する必要はありません。

- 1 メニューボタンを短く押してモードメニューを表示させ、 にタッチする



- 2 trackフォルダの作成  にタッチする
作成が実行されます。



「track フォルダを作成しました」と表示され、[ルート/ブレースマーク]の画面に戻ります。

trackフォルダを作成しました


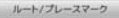
すでに「track フォルダ」が作成されている microSD カードの場合は「フォルダは既に存在します」と表示し、[ルート/ブレースマーク]の画面に戻ります。

フォルダは既に存在します

取り込んだルートを地図画面に表示する

「ATLASTOUR Planner」で作成したルートを表示することができます。

例 >>>プロジェクト名「新規プロジェクト X」内の「ルート1」を地図画面に表示する場合

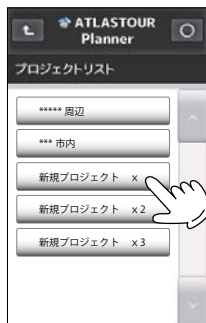
- 1  を短く押してモードメニューを表示させ、 にタッチする



- 2  にタッチする
プロジェクトリストを表示します。



- 3  にタッチする
ルート/ブレースマークを表示します。



<プロジェクトリスト例>

4 ルート1 にタッチする

ルート1の軌跡を地図画面に青色の点で表示します。



5 ルートを地図画面に表示 にタッチする

地図 / メーター画面に戻ります。

- ※ 表示できるのは1つのルートのみです。
- ※ 他のルートを表示させると今までのルートは地図画面から削除されます。



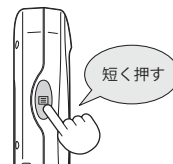
- ※ 地図 / メーター画面に戻ったときの画面について。

GPSの電波を受信していれば現在位置を表示します。GPSの電波を受信していない状態では最後に受信した場所を表示します。表示させたルートを確認する場合はスクロールなどして表示してください。

地図画面に表示したルートを地図画面から削除する

地図画面に表示したルートを削除します。

1 メニューボタンを短く押してモードメニューを表示させ、メニューに表示させる

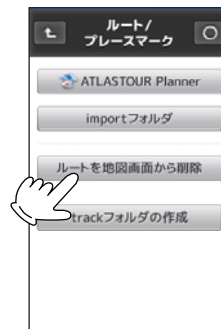


2 ルートを地図画面から削除 にタッチする

地図に表示されているルートを削除します。

タッチした後は「ルートを地図画面から削除」の文字がきえます。

- ※ ルートが表示されていない場合はタッチできません。



3 地図画面に戻ります

地図 / メーター画面に戻ります。